

# 資料5

## 事業者における定期健康診断、主要疾病等に関するスクリーニング検査の実施状況の調査結果

平成28年2月18日  
自動車局

# 各種スクリーニング検査等の実施状況の調査概要

○平成26年4月に「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」を改訂し、主要疾病等に関するスクリーニング検査として、①睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査、②脳ドック・脳MRI、MRAなど、③心疾患に係る検査、④人間ドックを推奨項目としているところ。

○各検査の普及状況及び課題を把握するため、各種スクリーニング検査等の実施状況の調査を行った。

## 回収実績

### ○バス事業者

#### 【配布主体】

・日本バス協会

#### 【回収実績】

・回収数 146件

#### 【事業規模(従業員数)】

✓ 10人未満	4.1%
✓ 10～50人未満	34.2%
✓ 50～300両未満	32.2%
✓ 300～500人未満	6.8%
✓ 500人以上	22.6%

### ○タクシー事業者

#### 【配布主体】

・全国ハイヤー・タクシー連合会

#### 【回収実績】

・回収数 130件

#### 【事業規模(従業員数)】

✓ 10人未満	3.8%
✓ 10～50人未満	26.2%
✓ 50～300両未満	56.2%
✓ 300～500人未満	6.9%
✓ 500人以上	6.9%

### ○トラック事業者

#### 【配布主体】

・全日本トラック協会

#### 【回収実績】

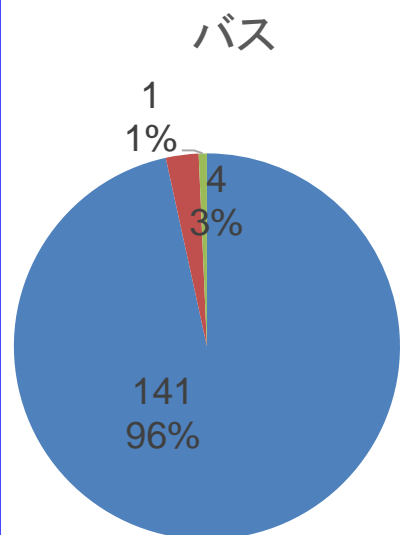
・回収数 114件

#### 【事業規模(従業員数)】

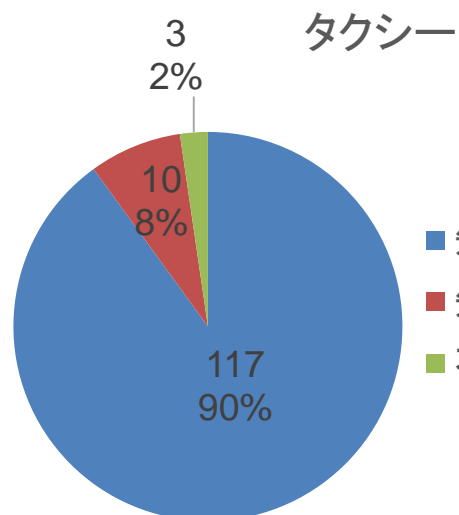
✓ 10人未満	0.9%
✓ 10～50人未満	35.6%
✓ 50～300両未満	42.1%
✓ 300～500人未満	7.9%
✓ 500人以上	3.5%

# 【共通】問6. 健康管理マニュアルの認知状況

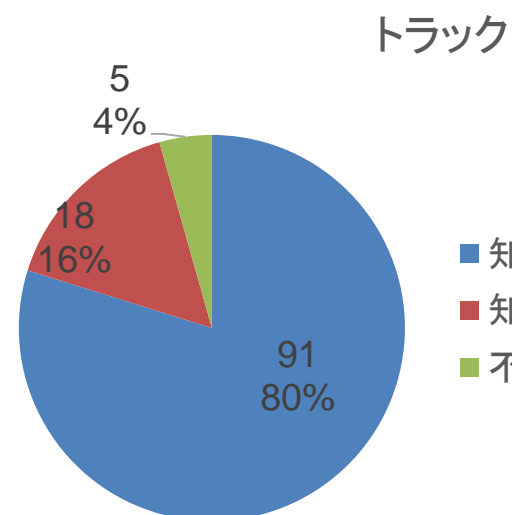
○国土交通省が策定した「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」については、認知されており、一定の周知が図られていると考えられる。



- 知っている
- 知らない
- 不明



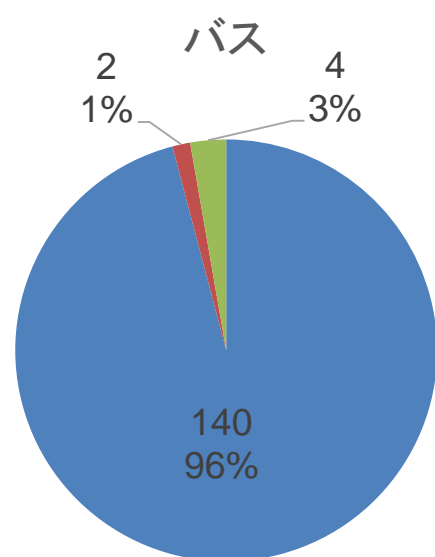
- 知っている
- 知らない
- 不明



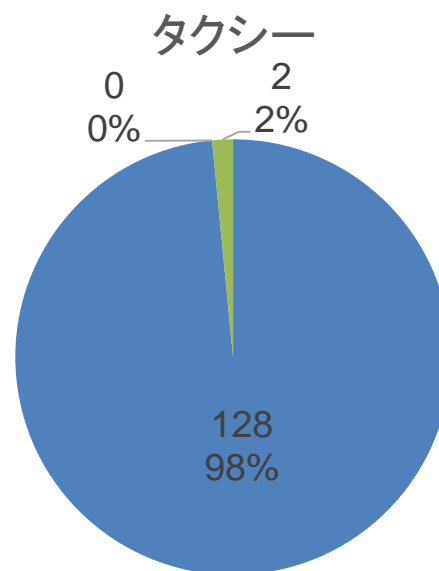
- 知っている
- 知らない
- 不明

# 【共通】問8. 定期健康診断の適切な実施の有無

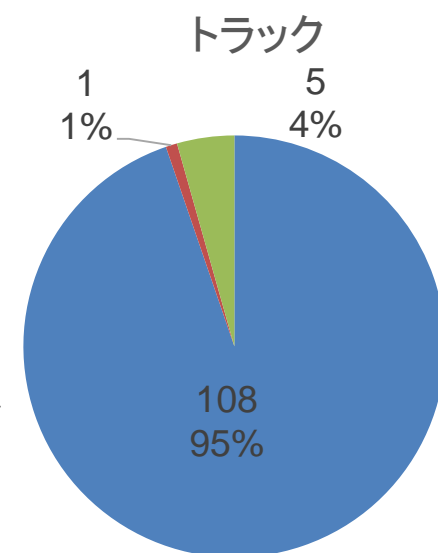
○各モードとも95%以上適切に実施されている。



■ 実施  
■ 未実施  
■ 不明



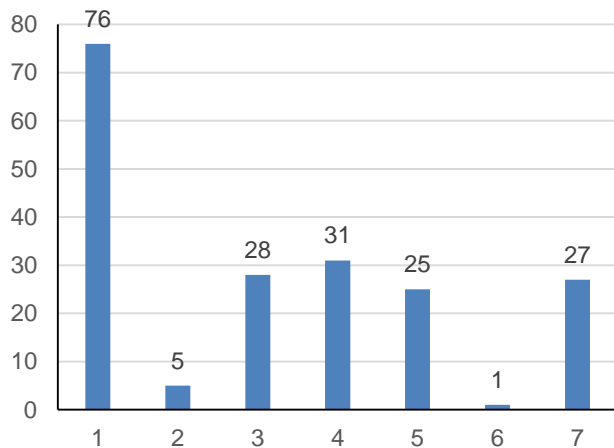
■ 実施  
■ 未実施  
■ 記載無し



■ 実施  
■ 未実施  
■ 不明

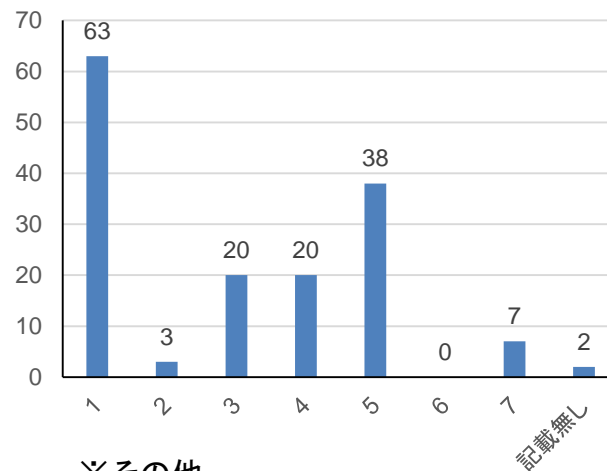
○バス、タクシーについては「産業医を活用」と回答した事業者が多い。  
 ○トラックについては、ドライバーに任せていると回答した事業者がもっとも多く、次いで「産業医を活用」と回答した事業者が多い。

バス



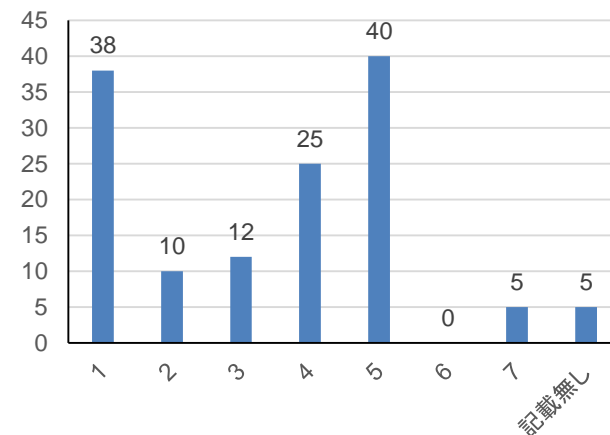
※その他  
 ○受診を促している  
 ○有所見者に対し、フォローアップを行っている  
 ○かかりつけの医師を受診するよう指導している など

タクシー



※その他  
 ○記載無し

トラック

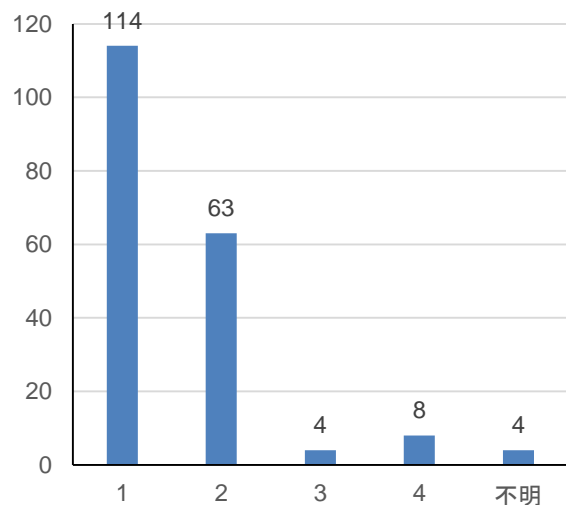


※その他  
 ○再検査や精密検査を受診させている

1. 産業医を活用
2. 地域産業保健センターを活用
3. 保健師を活用
4. 貴社から特定の病院を推薦
5. ドライバーに任せている
6. 特に指示をしていない
7. その他

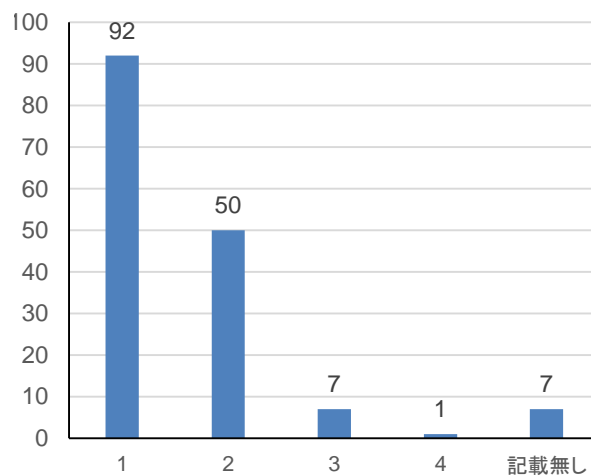
- 各モードとも運転者から治療の経過を聴取してフォローアップを行っている事業者が多い。
- 各モードとも特に対応していないという事業者が少数いる。

バス



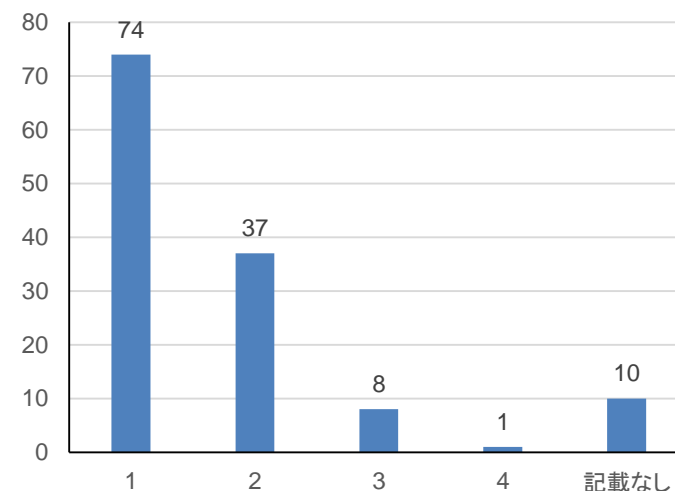
- ※その他
- 主治医の診断結果を報告させている
  - 血圧、SASなどは経過を聴取し記録している
  - 重度の疾病の場合は受診させている など

タクシー



- ※その他
- 記載無し

トラック



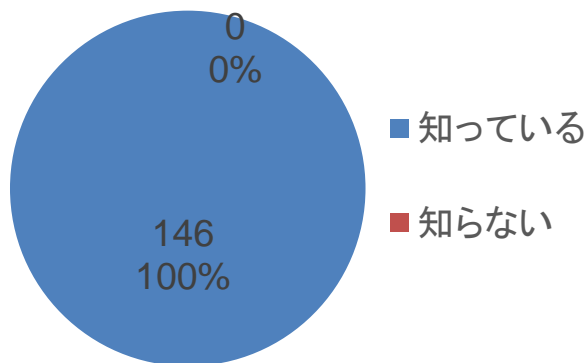
- ※その他
- 記載無し

1. ドライバーから治療の経過を聴取している
2. 医師の診断書を提出させている
3. 特に対応をしていない
4. その他

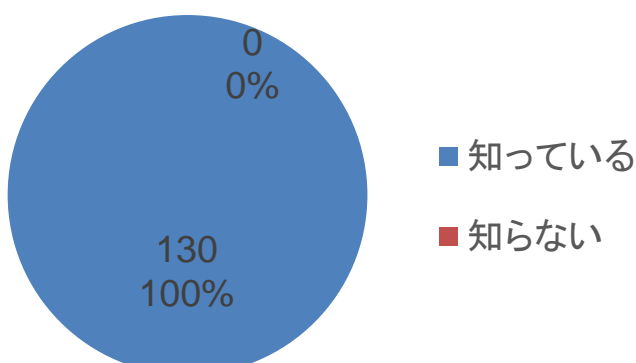
○各モードとも睡眠時無呼吸症候群(SAS)は100%周知されている。  
 ○国土交通省が策定した「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群対策マニュアル」について、広く認知されている。

## SASの認知状況

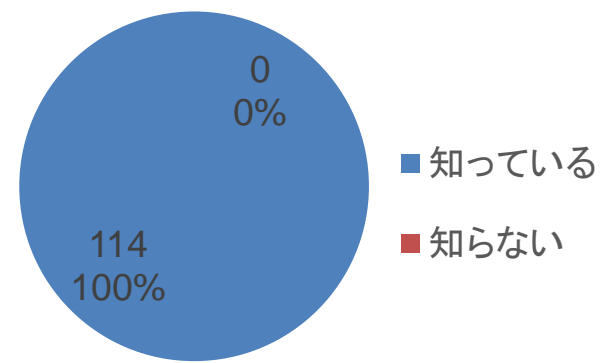
バス



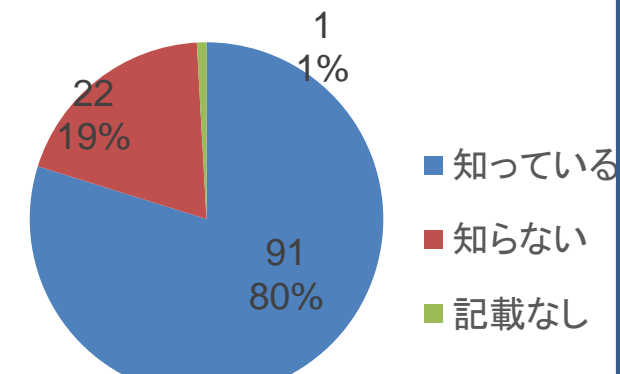
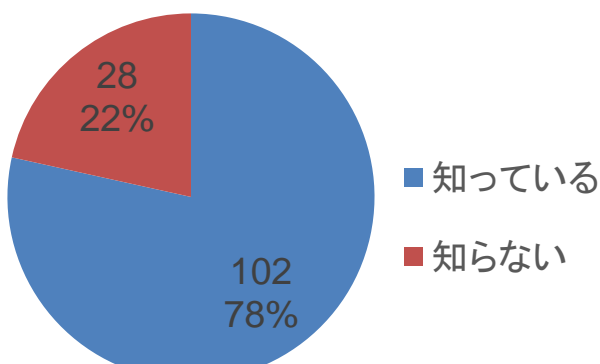
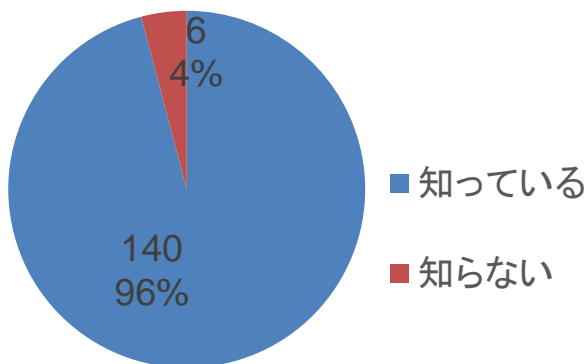
タクシー



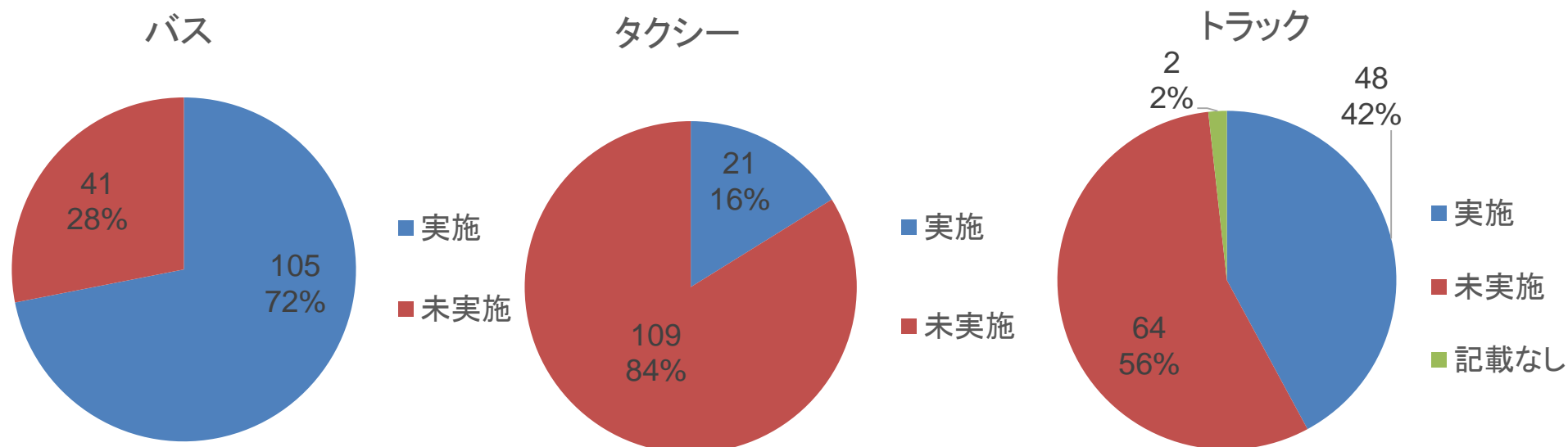
トラック



## SAS対策マニュアルの認知状況



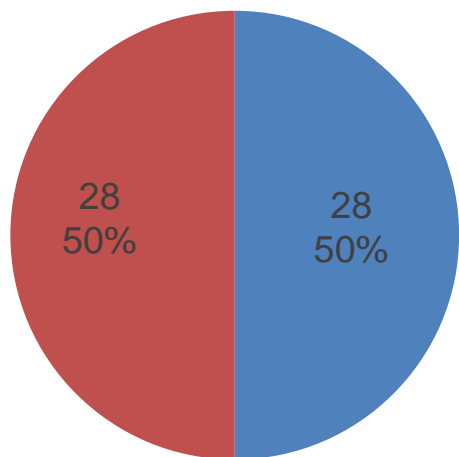
○バスは72%の事業者でSASスクリーニング検査を実施されており、普及が進んでいる。  
○トラックは42%、タクシーは21%と半数以上で実施されておらず、普及が進んでいない。





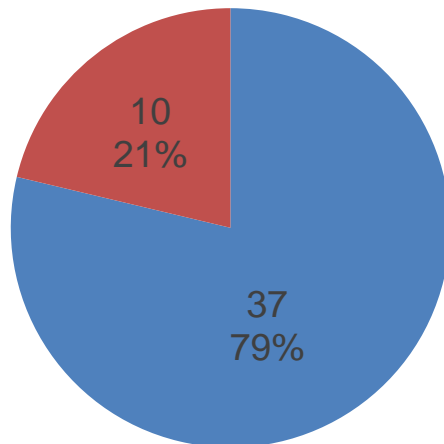
○バスは全体で72%の事業者がSASスクリーニング検査を実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

従業員数50人未満



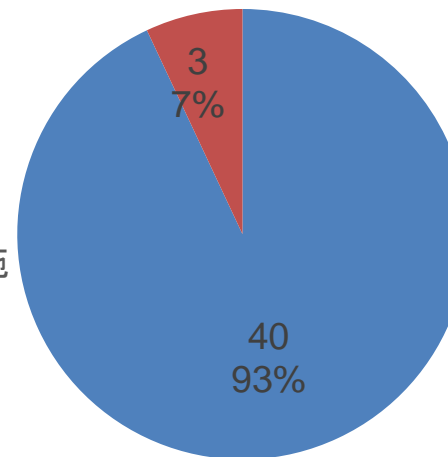
■ 実施  
■ 未実施

従業員数50～300人未満



■ 実施  
■ 未実施

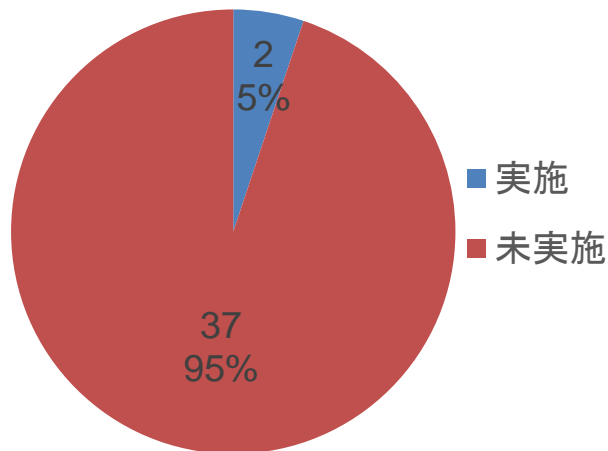
従業員数300人以上



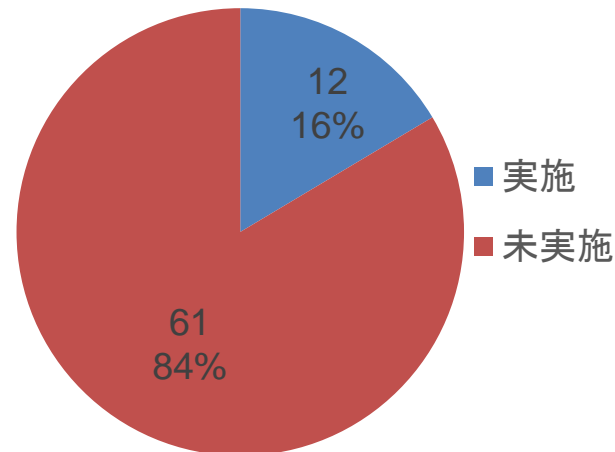
■ 実施  
■ 未実施

○タクシーは全体で16%の事業者がSASスクリーニング検査を実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

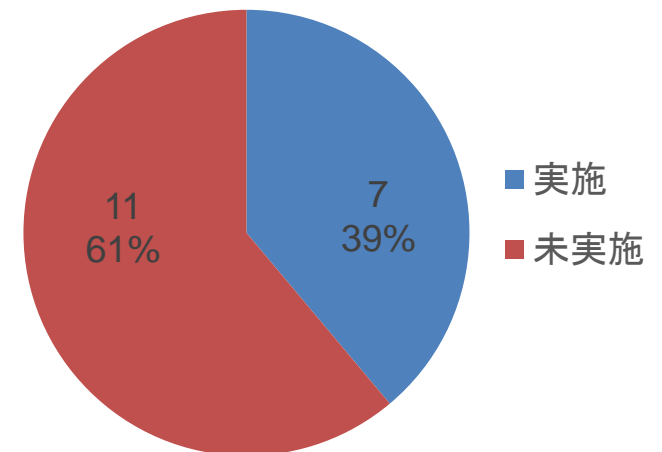
従業員数50人未満



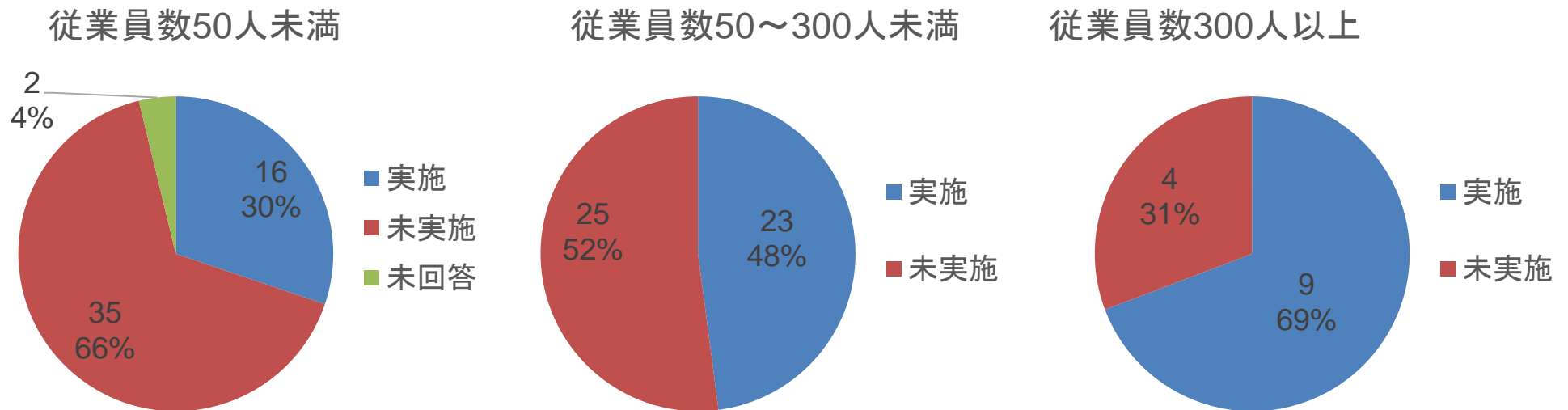
従業員数50～300人未満



従業員数300人以上



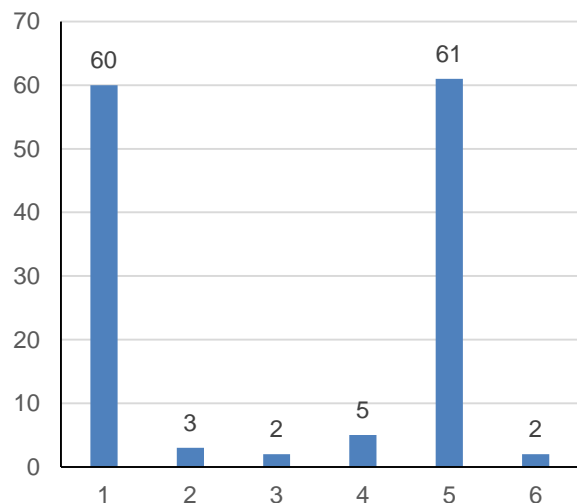
○トラックは全体で42%の事業者がSASスクリーニング検査を実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。



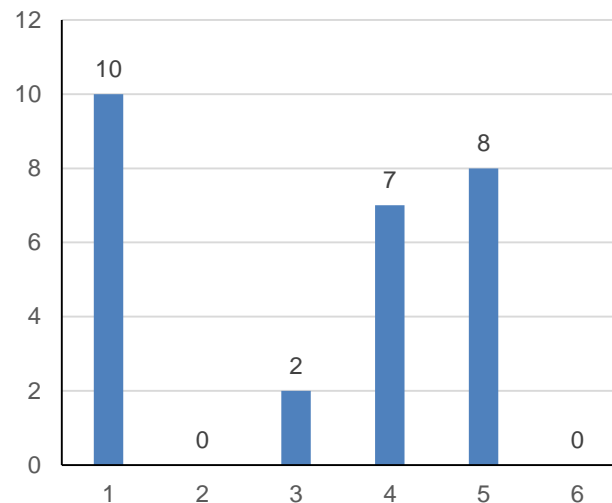
# 【SAS】問15. スクリーニング検査実施のきっかけ

○各モードとも「国土交通省や業界団体が推奨している」ことがきっかけとなっている事業者が多く、次いで「自主的に安全管理で必要と思ったから」が続く。

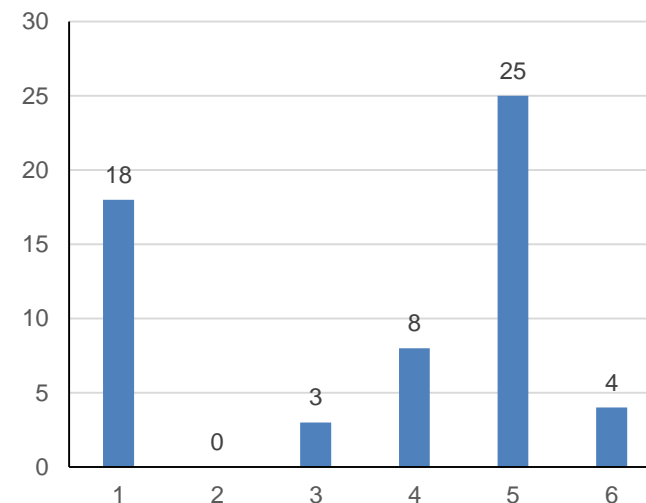
バス



タクシー



トラック

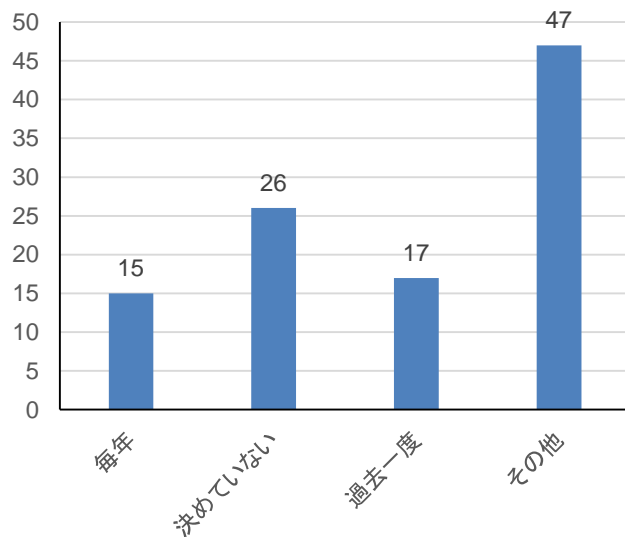


1. 国土交通省や業界団体が推奨しているから
2. 企業のイメージアップ
3. 過去にSAS起因事故を起こしたドライバーがいたから
4. SASの疑いがあるドライバーがいたから
5. 自主的に安全管理で必要だと思ったから
6. その他

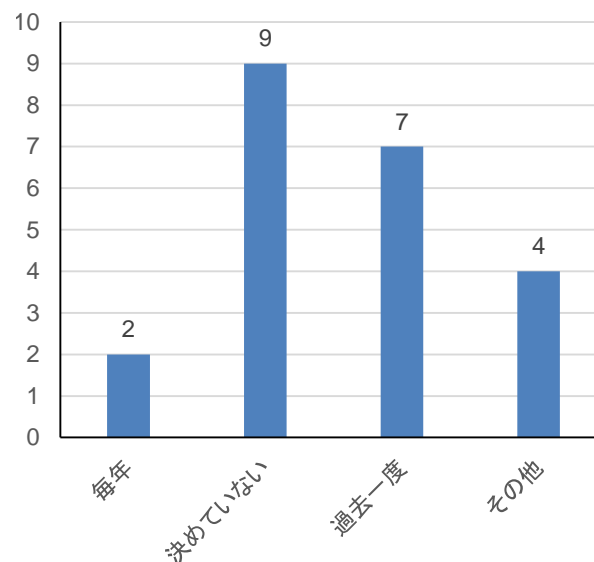
# 【SAS】問16. スクリーニング検査の受診頻度

- 普及が進んでいないトラック、タクシーについては、「受診頻度を決めていない」や「過去に一度」の割合が大きい。
- 普及が進んでいるバスは、自社で受診頻度を決めている割合が大きい。

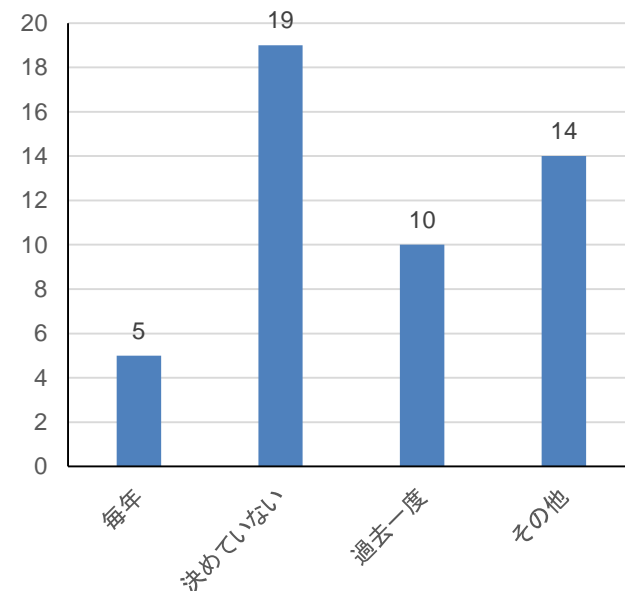
### バス



### タクシー



### トラック



※その他の内訳  
 2～3年に一度・・・37件  
 4～5年に一度・・・7件  
 貸切、高速などで選別・・・1件  
 記載なし・・・2件

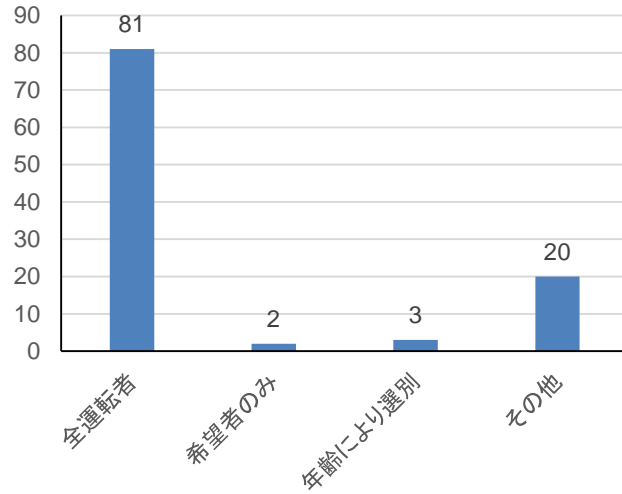
※その他の内訳  
 3年に一度・・・2件  
 5年に一度・・・1件  
 AB判定は5年に一度・・・1件

※その他の内訳  
 2～3年に一度・・・4件  
 4～5年に一度・・・10件

# 【SAS】問17. 受診運転者の選別

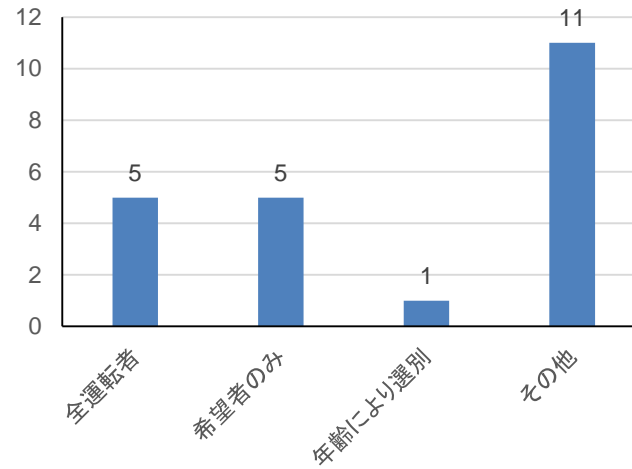
- バス、トラックでは全運転者に受診させている割合が大きい。
- タクシーについては、自社で受診対象者を決めている割合が大きい。

### バス



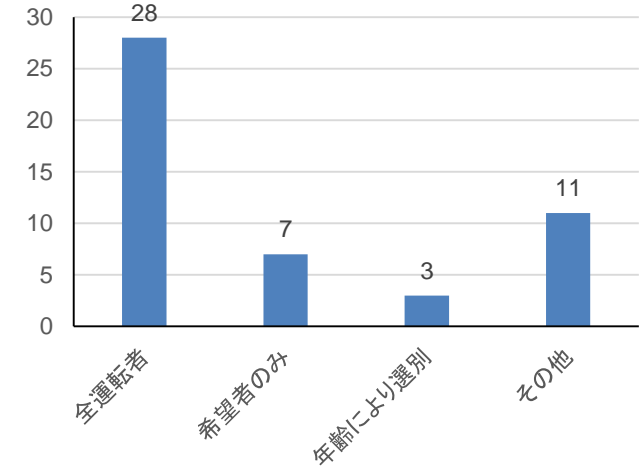
- ※年齢により選別
  - 40歳以上…1件
  - 50歳以上…2件
- ※※その他
  - OSASの疑いがあるドライバー
  - 太っているドライバー
  - 高速乗合バスなど特定の運転者
  - 順次人数を限定して受診 など

### タクシー



- ※年齢により選別
  - 60歳以上
- ※※その他
  - OSASの疑いがあるドライバー
  - 太っているドライバー
  - 健康診断や産業医からの指摘
  - 点呼時の眠気の申告者 など

### トラック

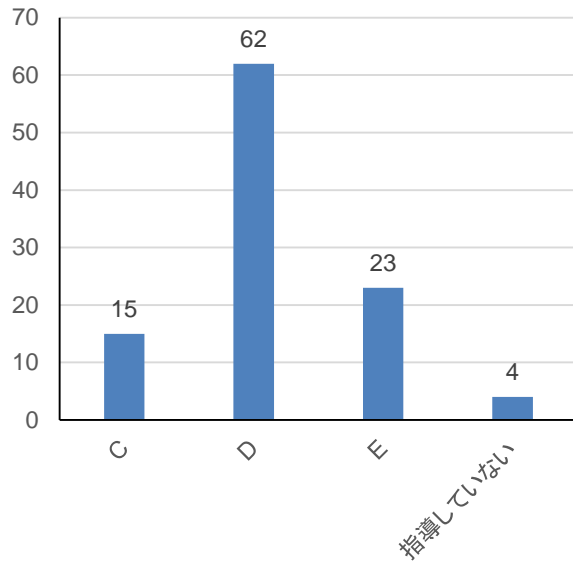


- ※年齢により選別
  - 記載なし…3件
- ※※その他
  - OSASの疑いがあるドライバー
  - 太っているドライバー
  - 5の倍数の年齢の運転者 など

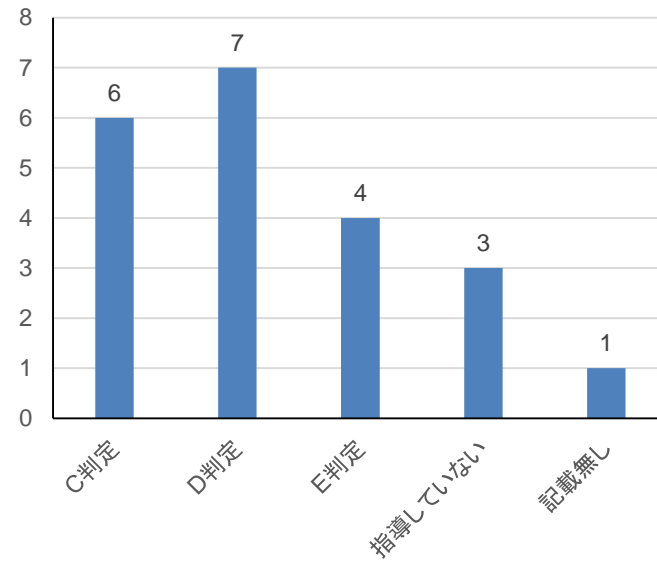
# 【SAS】問18. 精密検査の受診基準

- 各モードとも要精密検査の判定基準であるD判定から精密検査を指導している割合が大きい。
- 精密検査の指導を行っていない事業者が一定数いる。

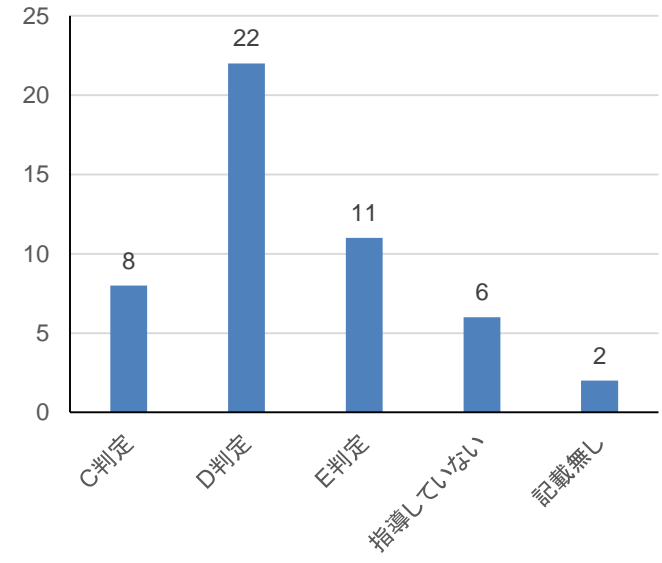
### バス



### タクシー

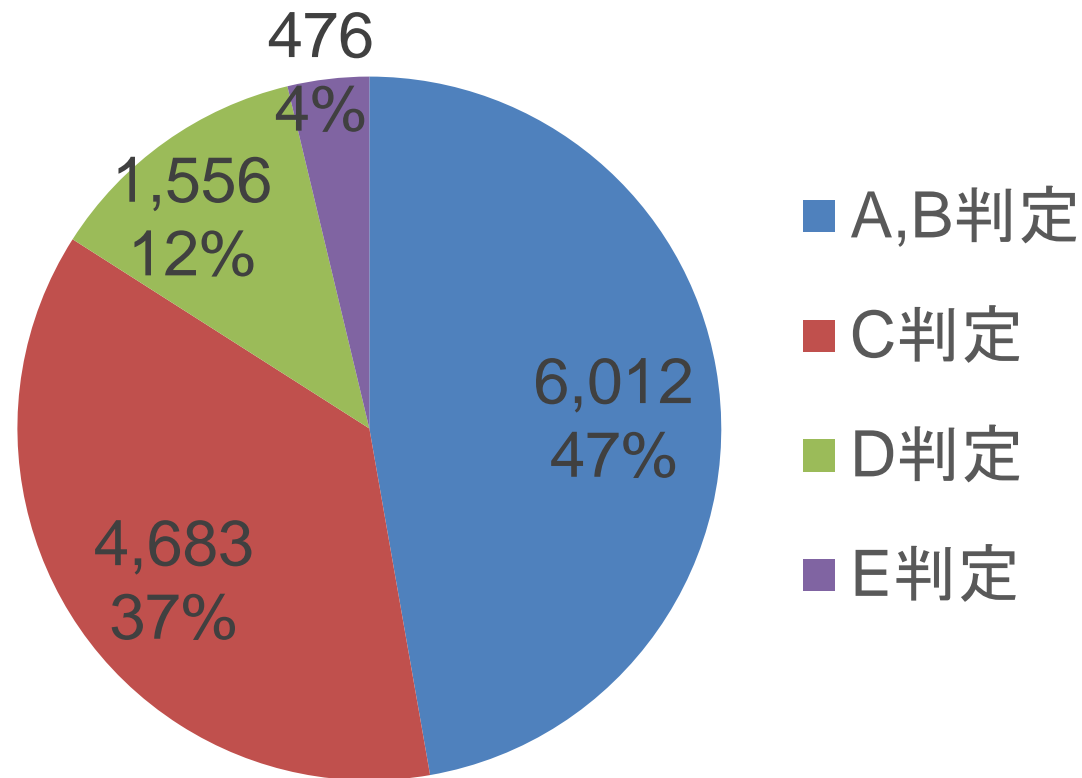


### トラック



## 【SAS】問19. C判定以上の判定結果数(バス)

○他モードと比較し、C判定の割合が大きい。



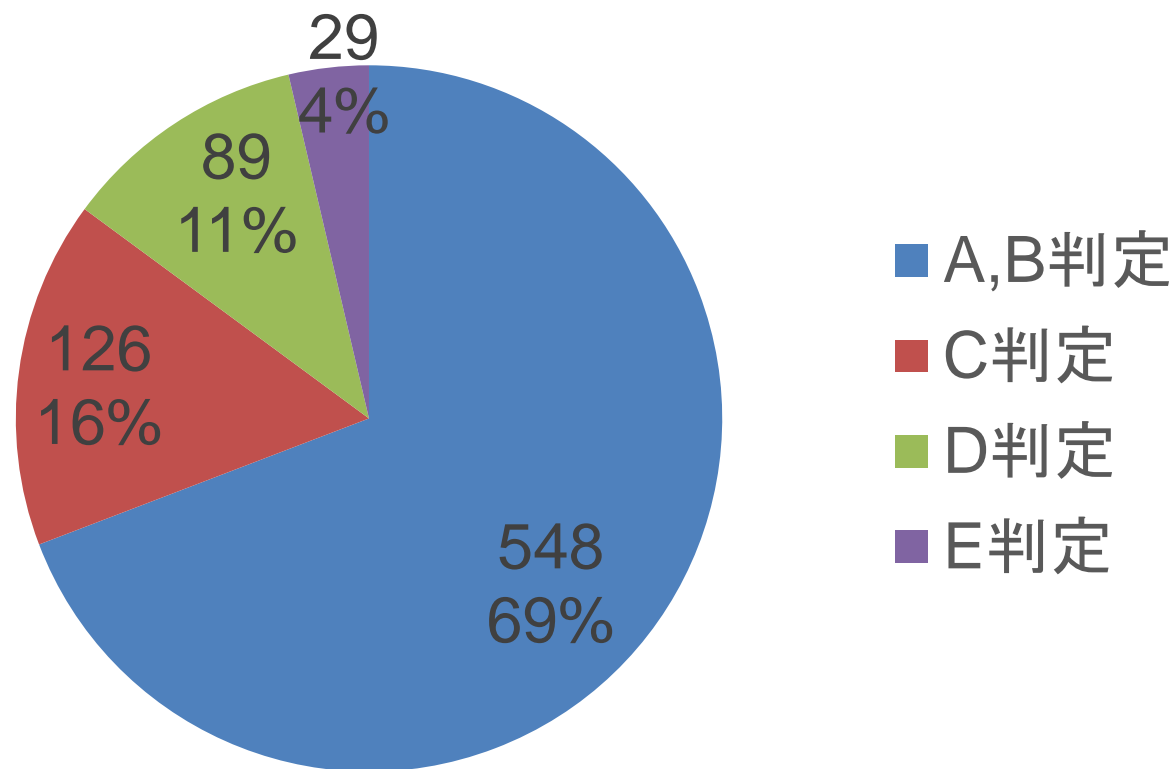
※実施事業者数・・・91社

※ ※記載なし・・・14件



## 【SAS】問19. C判定以上の判定結果数(タクシー)

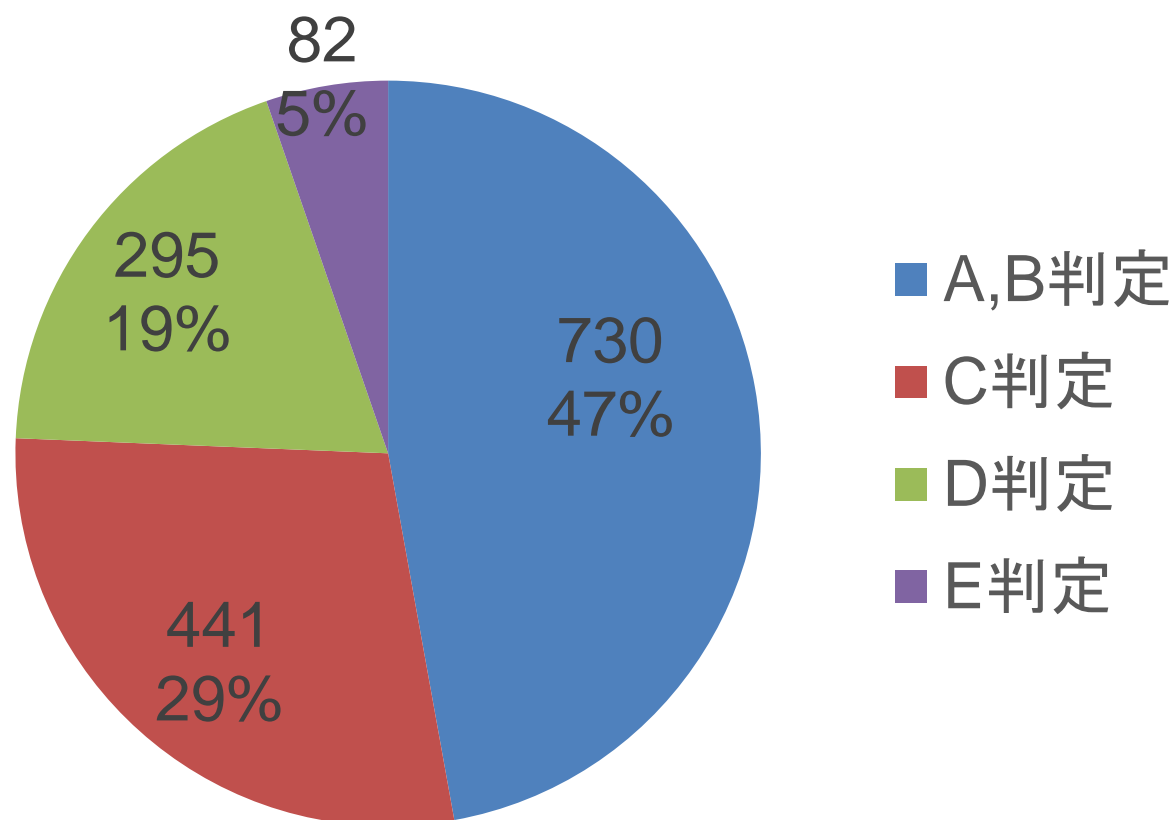
○他モードと比較し、A,B判定の割合が大きい。



※実施事業者数・・・21社

## 【SAS】問19. C判定以上の判定結果数(トラック)

○他モードと比較し、D判定の割合が大きい。



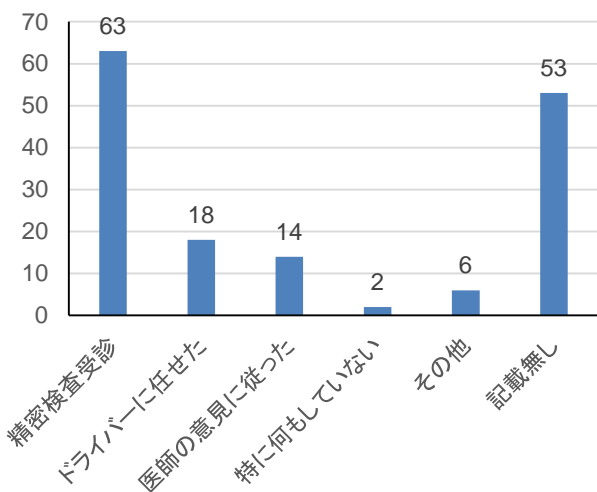
※実施事業者数・・・40社

※ ※記載なし・・・8件

# 【SAS】問20. C判定以上の運転者への対応

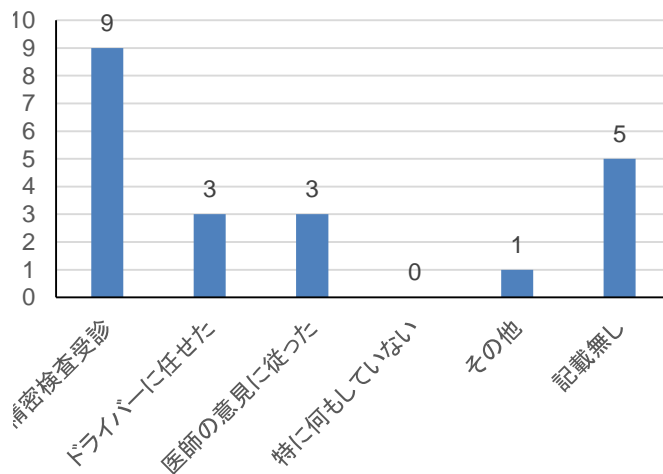
○バス、タクシーでは精密検査を受診させている割合が大きい。  
○トラックについても精密検査を受診させている割合が大きい、ドライバーに任せたり医師の意見に従っている事業者も大きい。

### バス



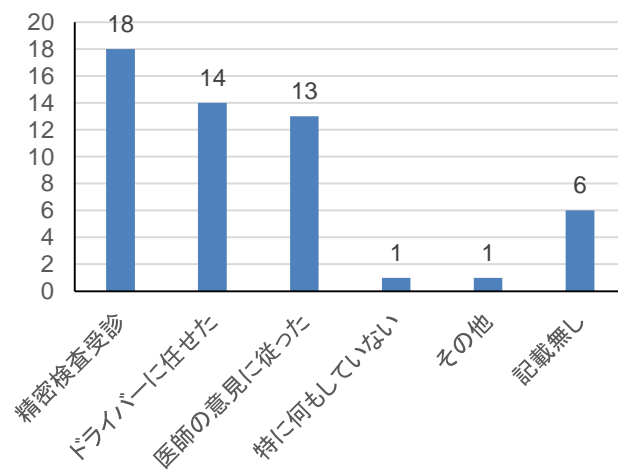
※その他  
○OCDは運転者に任せ、Eは受診させている  
○運転者に受診をまかせている など

### タクシー



※その他  
○記載なし

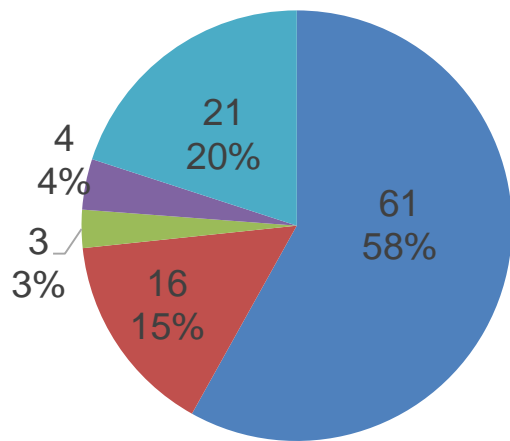
### トラック



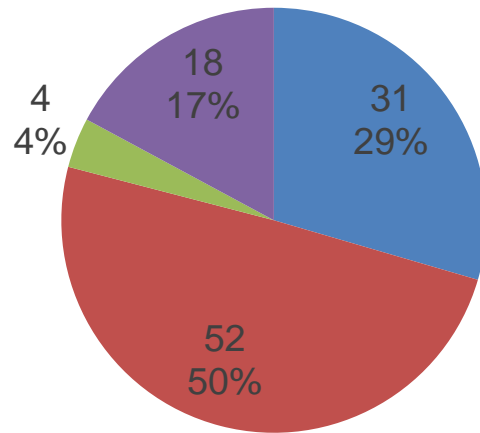
※その他  
○OCDは運転者に任せ、Eは受診させている

- 負担額が5,000円の事業者が半数以上。
- 負担感は「相応」と感じている事業者が半数。
- スクリーニング検査の費用は「必要なコスト」とであると認識している事業者が多い。

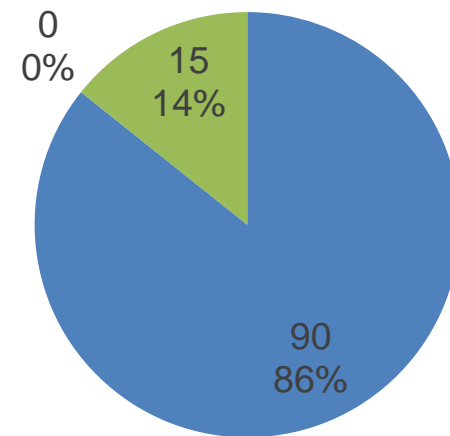
### 負担額



### 負担感



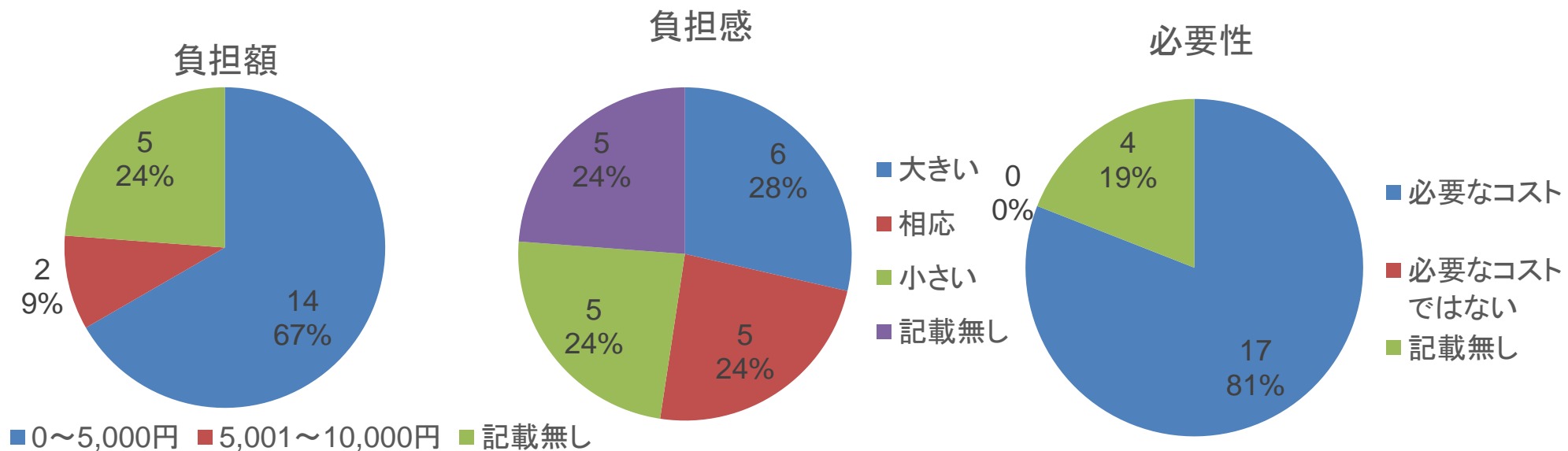
### 必要性



■ 0～5,000円      ■ 5,001～10,000円  
■ 10,001～20,000円 ■ 20,001～30,000円  
■ 記載無し

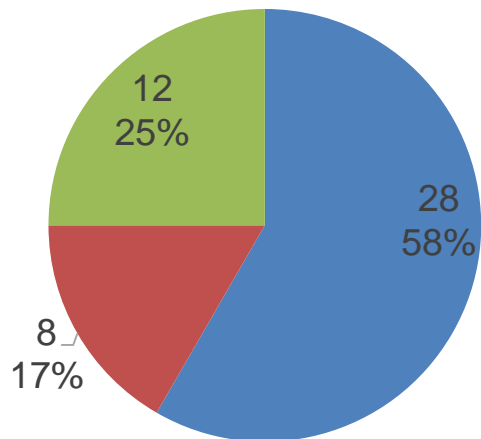
■ 必要なコスト    ■ 必要なコストではない    ■ 記載無し

- 負担額が5,000円以下の事業者が半数以上。
- 負担感の回答に偏りは見られない。
- スクリーニング検査の費用は「必要なコスト」として認識している事業者が多い。



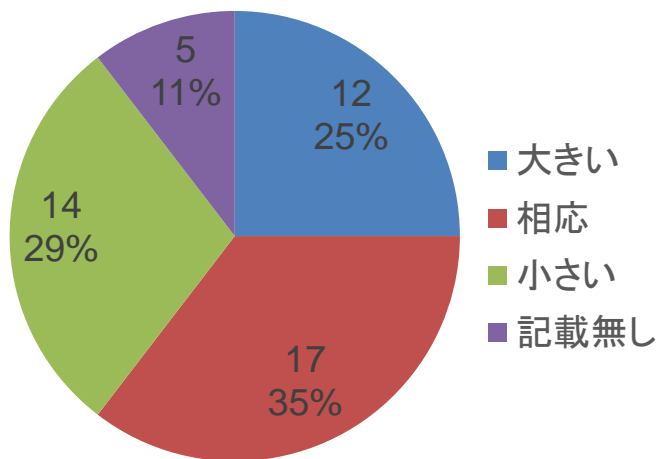
- 負担額が5,000円以下の事業者が半数以上。
- 負担感の回答に偏りは見られない。
- スクリーニング検査の費用は「必要なコスト」として認識している事業者が多い。

負担額



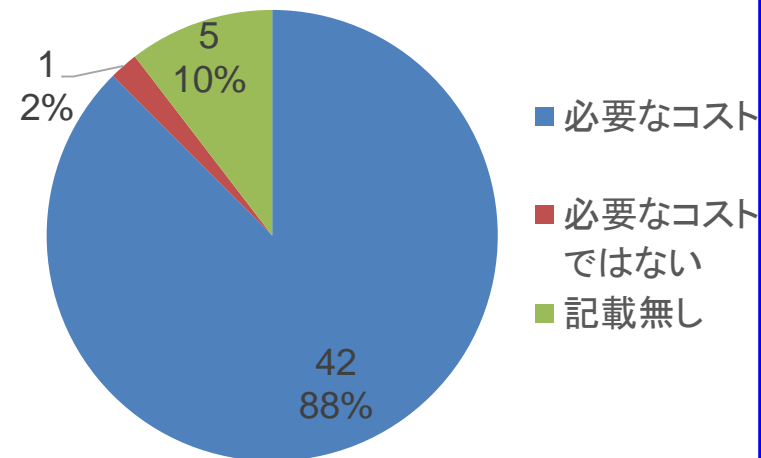
- 0～5,000円
- 5,001～10,000円
- 記載無し

負担感



- 大きい
- 相応
- 小さい
- 記載無し

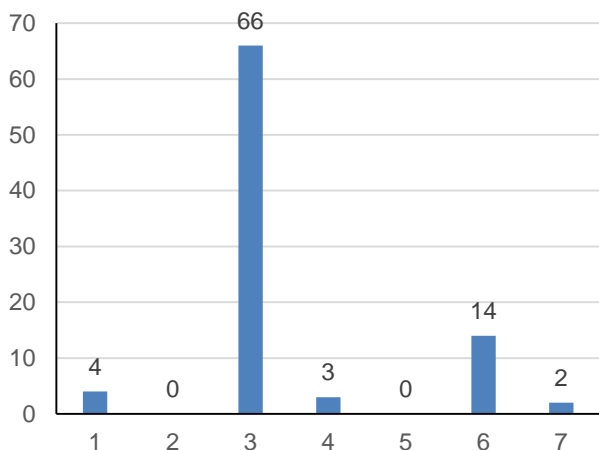
必要性



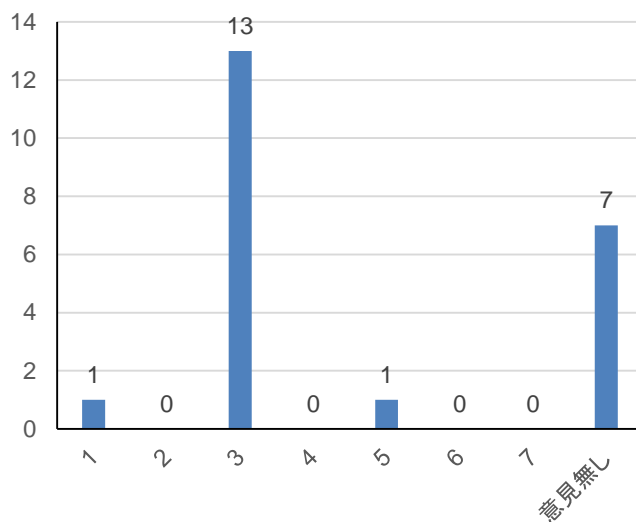
- 必要なコスト
- 必要なコストではない
- 記載無し

○各モードとも治療をしながら運送業務を続けさせた事業者が多い。

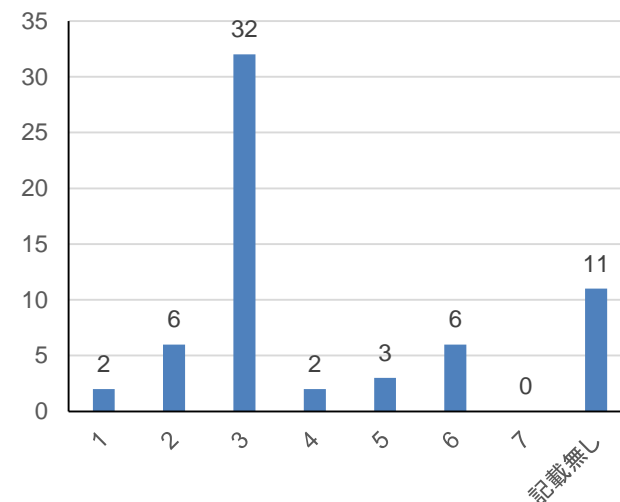
### バス



### タクシー



### トラック



※その他

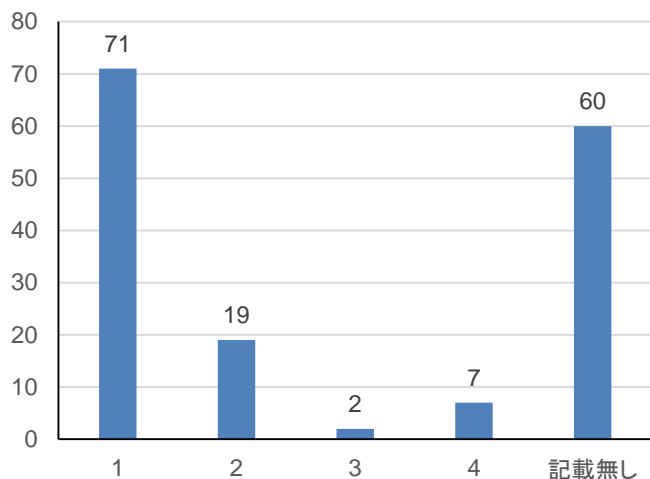
○夜行は運行させない

○しばらく治療に専念させ、医師と乗務可否を相談

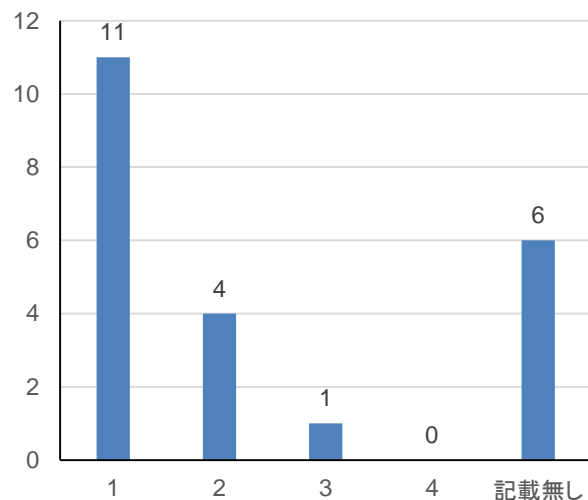
1. 治療のため休暇を命じた
2. 運送以外の業務に配置転換した
3. 治療しながら運送業務を続けた
4. 特に対応していない
5. ドライバーを解雇又は他職種へ転職を勧めた
6. 医師の意見に従った
7. その他

○各モードとも運転者から治療の経過を聴取している事業者が多く、「医師の診断書を提出させる」を含めるとフォローアップを行っている事業者が多い。

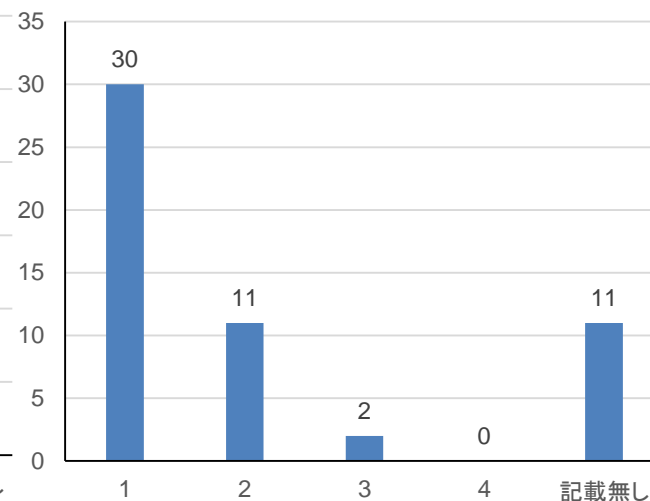
### バス



### タクシー



### トラック



※その他

- CPAPを使っでの治療状況を聞き取り
- かかりつけ医に異常の有無を確認している
- 通院の結果と領収書を回収 など

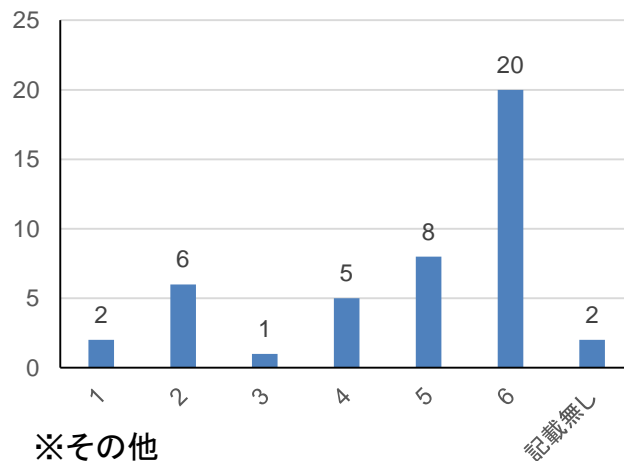
1. ドライバーから治療の経過を聴取している    2. 医師の診断書を提出させている  
 3. 特に対応していない    4. その他



# 【SAS】問24. スクリーニング検査を実施していない理由

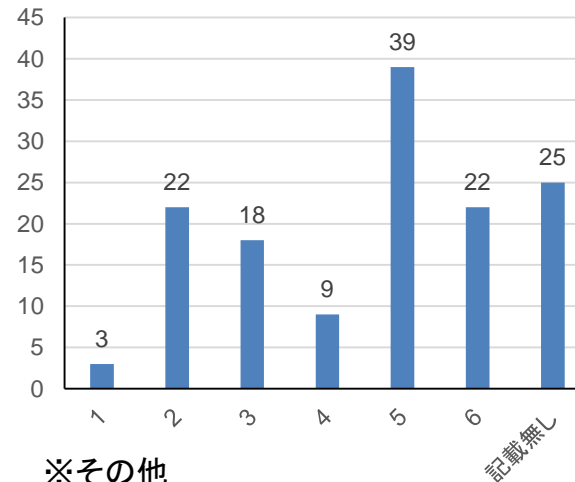
- バスでは「受診費用の負担」や「人間ドックを受診していれば不要」などの回答が多くあるが、目立って多い回答はない。
- タクシーでは「受診費用の負担が大きい」がもっとも多い特徴がある。
- トラックでは「検査可能な病院が近くにない」、「検査の必要性を感じない」など様々な理由でスクリーニング検査が実施されていない。

バス



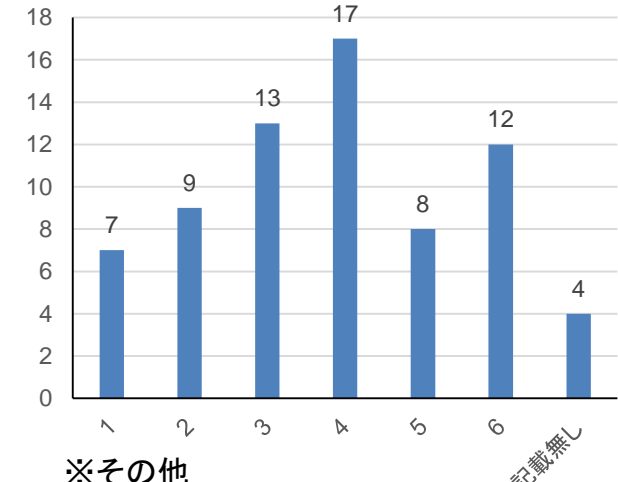
- ※その他
- 今後検査を検討中
  - 一度に複数の運転者が受診出来ないため
  - OSASの疑いがあれば自社で対応 など

タクシー



- ※その他
- 今後検査を検討中
  - 予約が取れない
  - 運転者が少ないので実施できない など

トラック

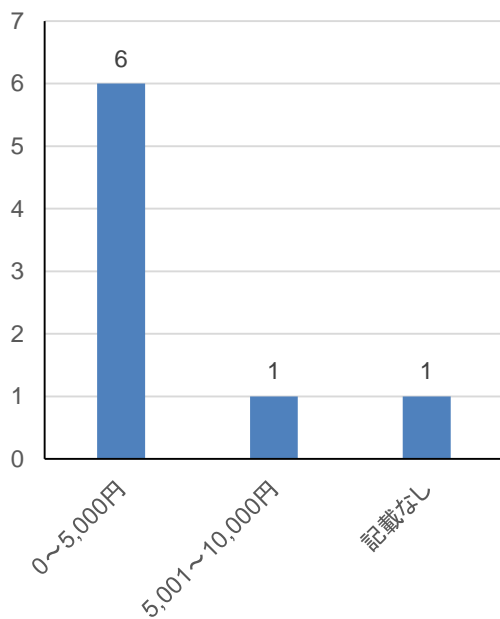


- ※その他
- 今後検査を検討中
  - 検査の時間が取れない
  - 個人に任せている など

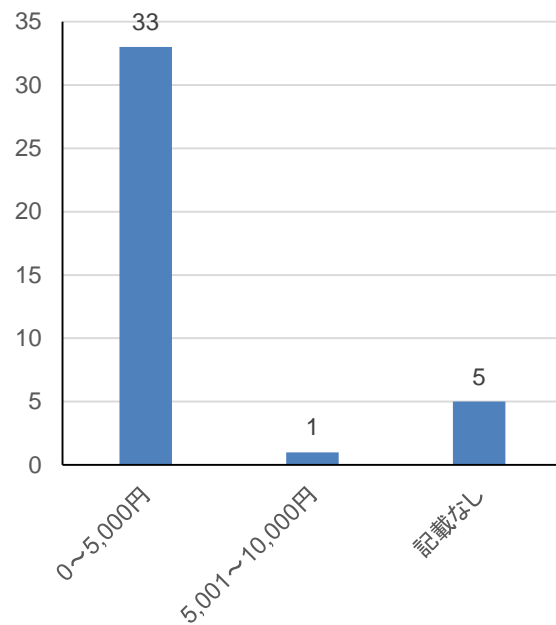
1. ドライバーから反対があったため
2. 人間ドックを受診していれば不要と思ったから
3. 検査の必要性を感じないため
4. 検査可能な病院が近くにないため
5. 受診費用の負担が大きい
6. その他

○検査を受診していない理由として「受診費用の負担が大きいため」を選んだ事業者では、全モードとも5,000円以下であれば受診可能という回答が半数以上を占めている。

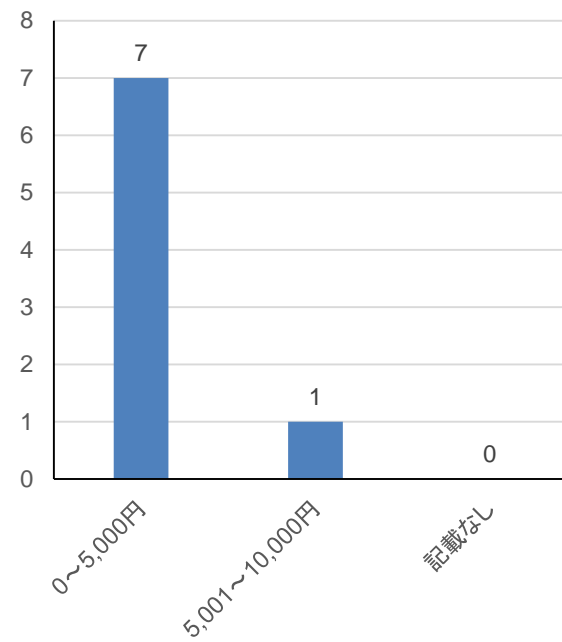
バス



タクシー

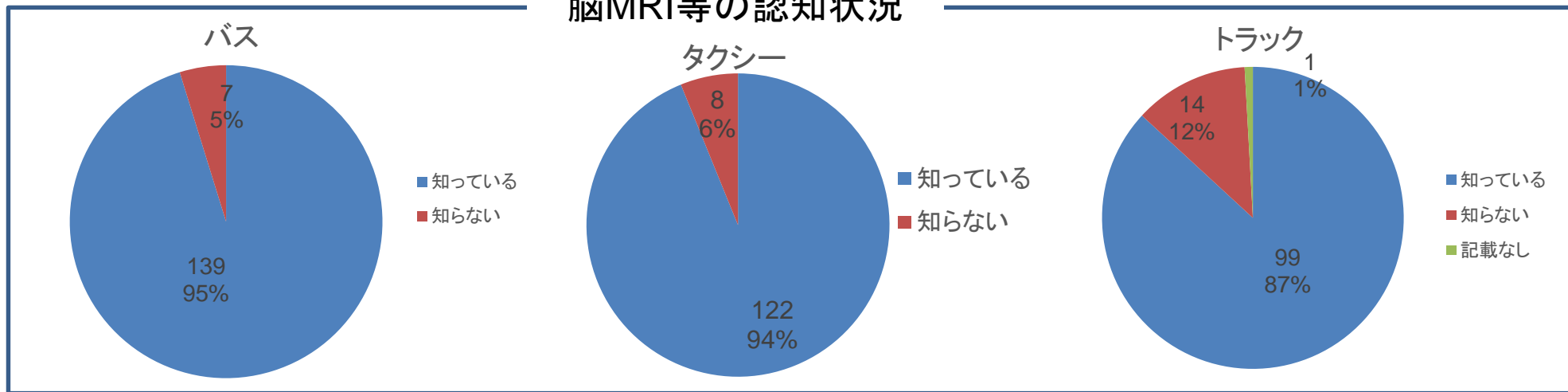


トラック

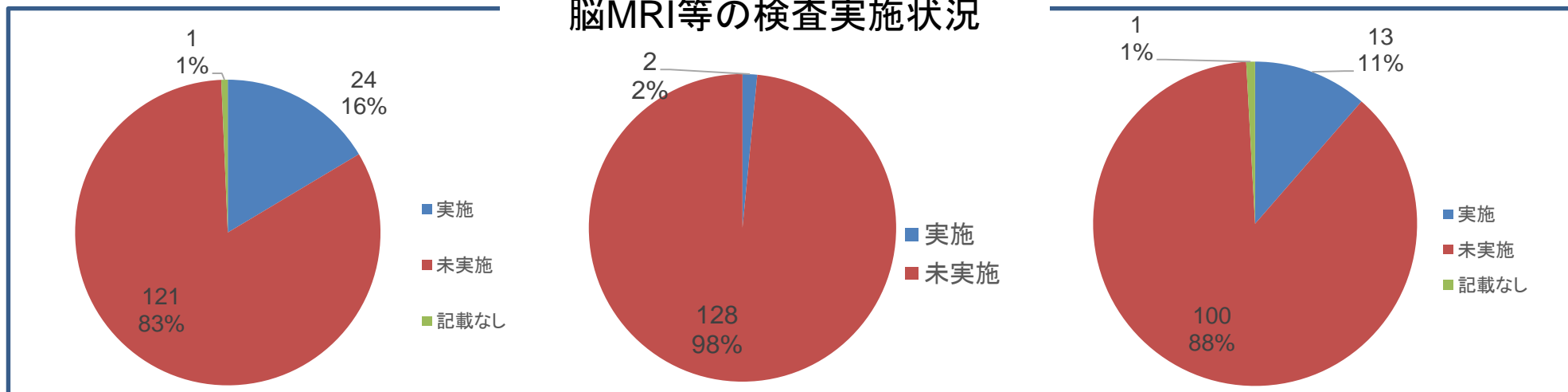


○各モードとも脳MRI等のスクリーニング検査は認知されているが、検査を実施している事業者は少ない。

## 脳MRI等の認知状況

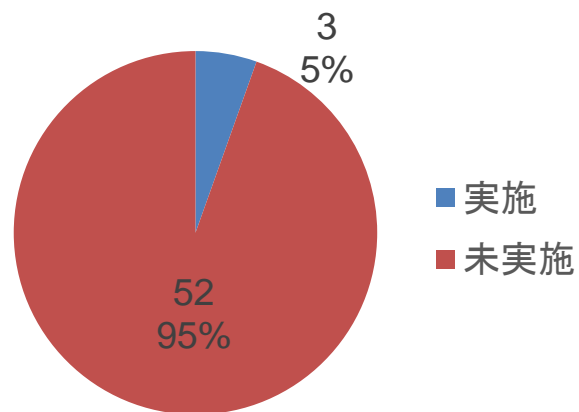


## 脳MRI等の検査実施状況

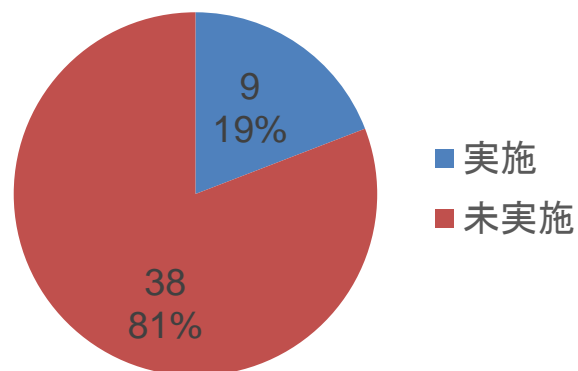


○バスは全体で24%の事業者が脳MRI等のスクリーニング検査を実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

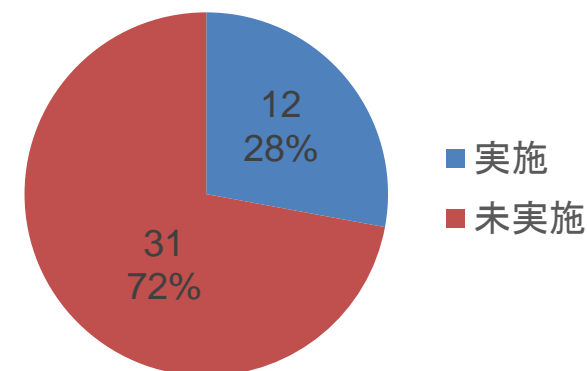
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満

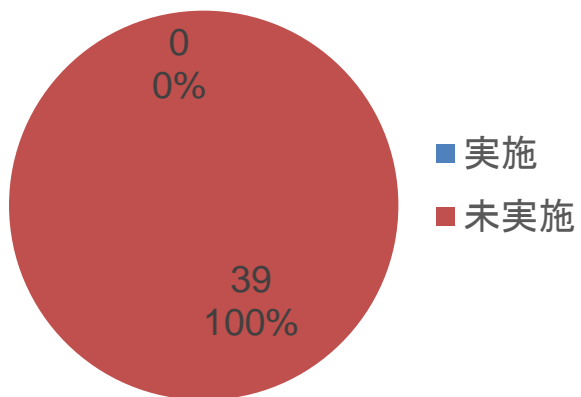


従業員数300人以上

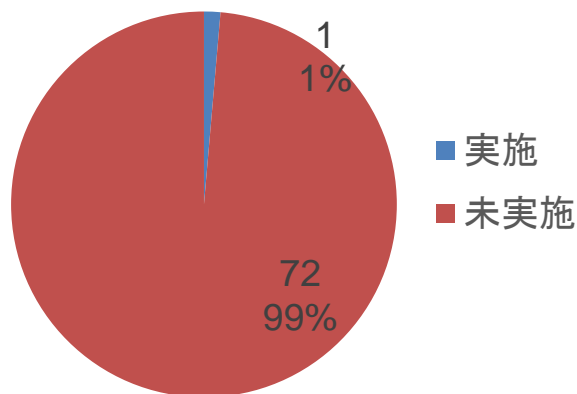


○タクシーは全体で2%の事業者が脳MRI等のスクリーニング検査を実施しており、全体で2件のみではあるが、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

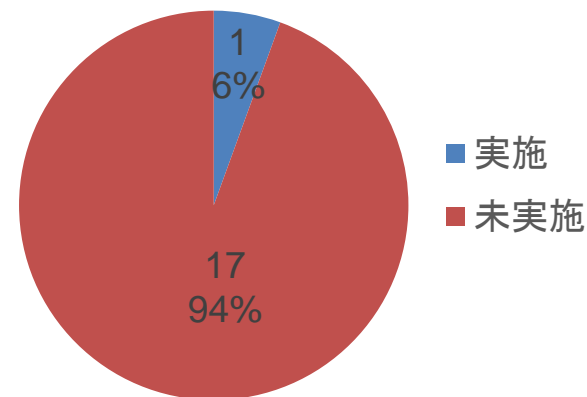
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満

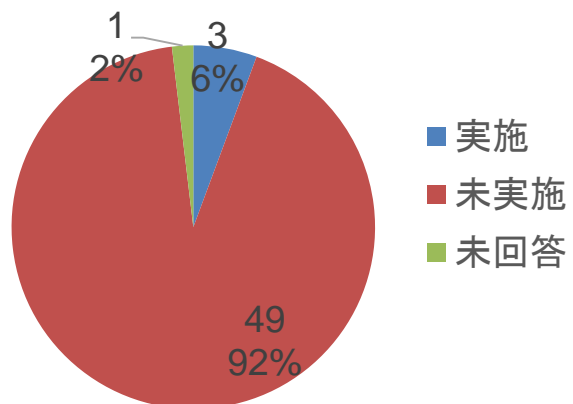


従業員数300人以上

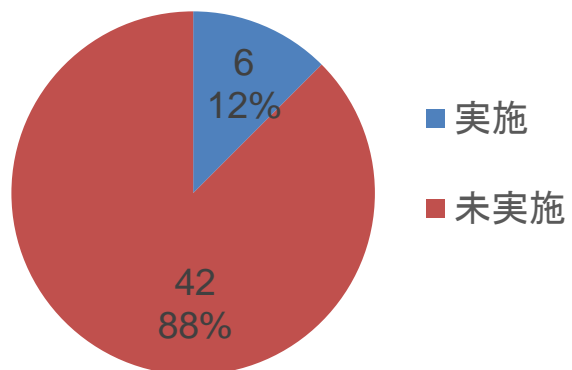


○トラックは全体で11%の事業者が脳MRI等のスクリーニング検査を実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

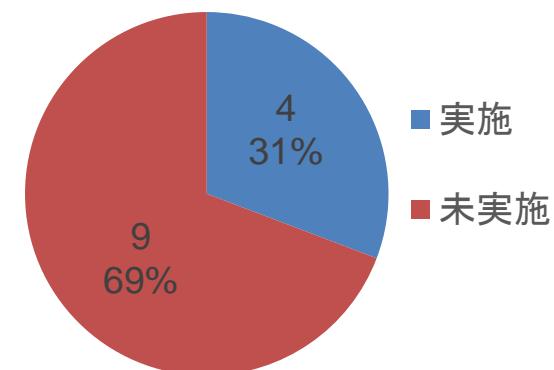
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満

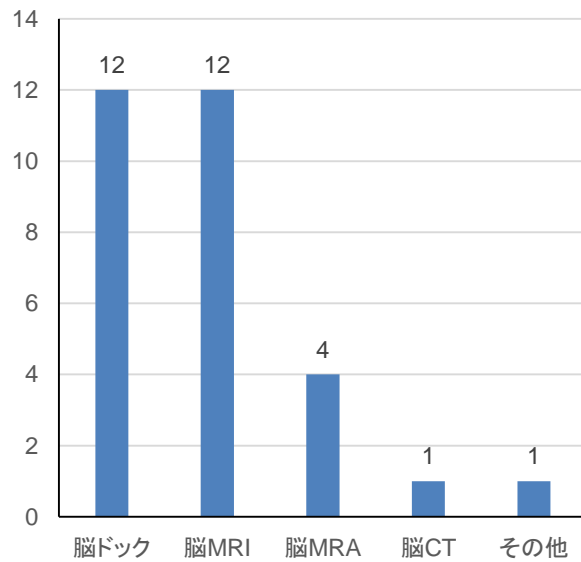


従業員数300人以上

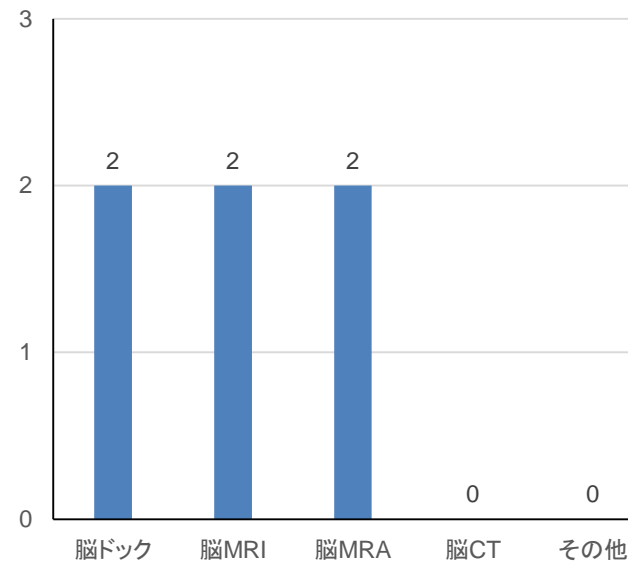


○複数の検査を受診している事業者もいる。

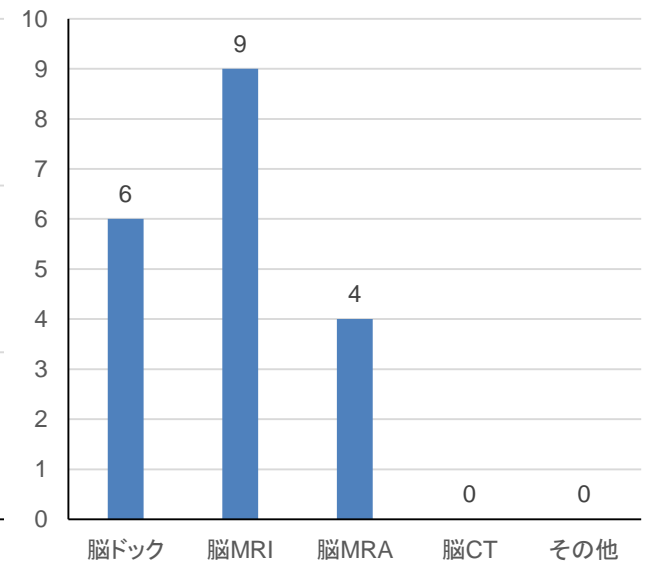
### バス



### タクシー



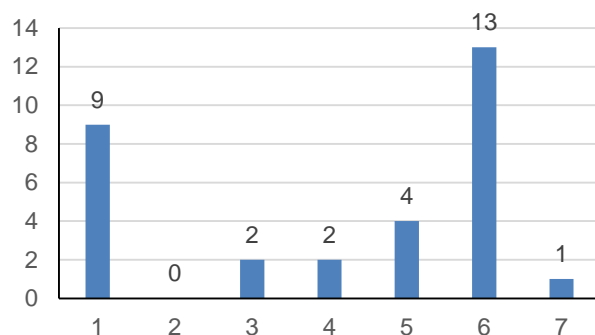
### トラック



# 【脳MRI等】問28. 検査を受けたきっかけ

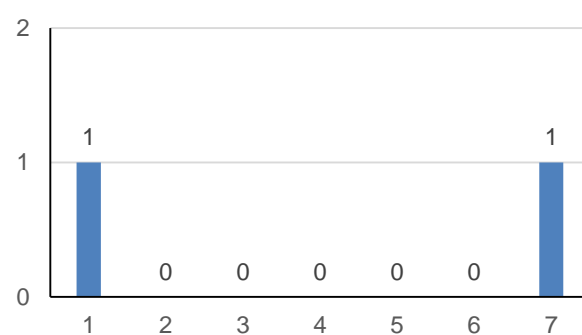
- バスでは、「自主的に安全管理で必要と思ったから」がきっかけとして最も多い。
- タクシーは全体で2件しかなく、それぞれ国土交通省や健康管理センターからの推奨がきっかけとなっている。
- トラックでは、「人間ドックのオプション」、「自主的に安全管理で必要と思ったから」の2つが多い。

バス



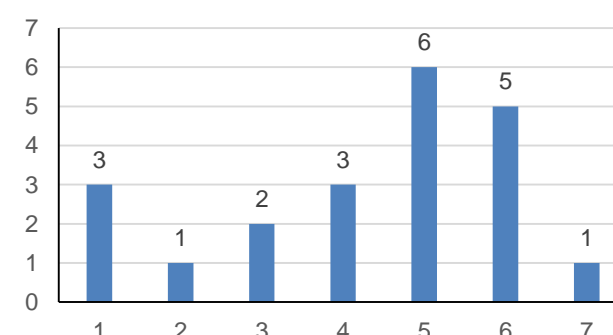
その他  
○従業員への福利厚生の一環

タクシー



その他  
○健康管理センターからの推奨

トラック



その他  
○記載なし

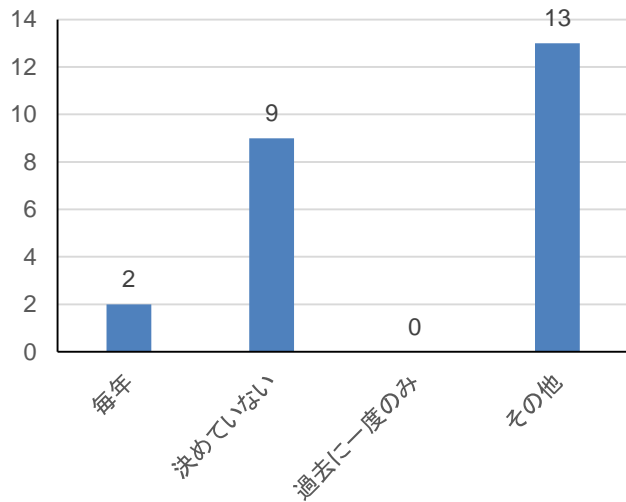
1. 国土交通省で推奨しているから
2. 企業のイメージアップ
3. 過去に脳疾患起因事故を起こしたドライバーがいたから
4. 脳疾患の疑いがあるドライバーがいたから
5. 人間ドックのオプションがあったから
6. 自主的に安全管理で必要だと思ったから
7. その他



# 【脳MRI等】問29. 検査の受診頻度

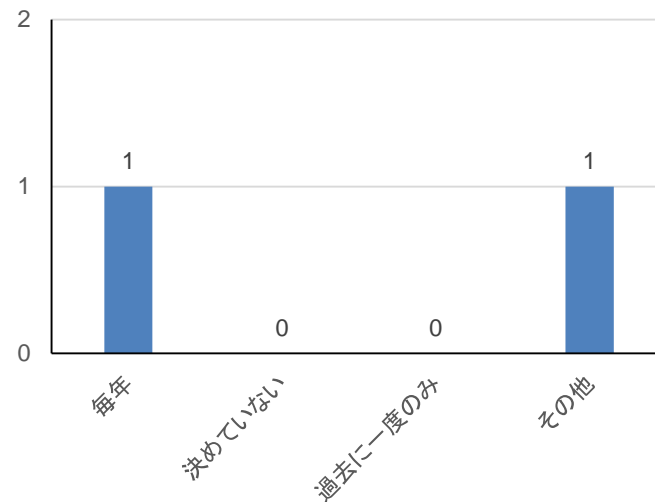
○各モードとも3～5年に一度受診や受診間隔を決めていない事業者が多く、受診間隔に一定の傾向は見られない。

### バス



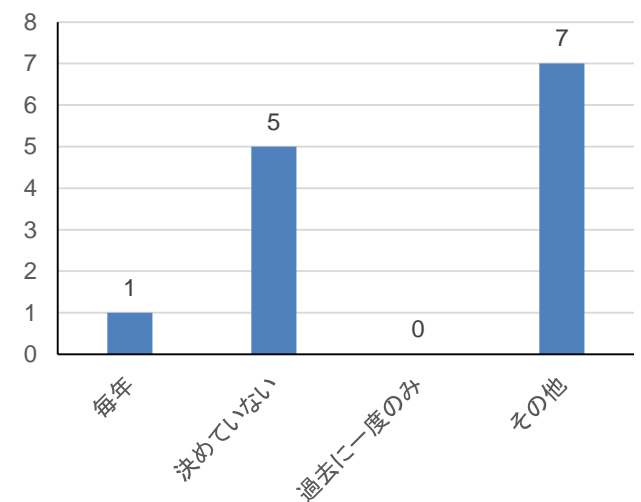
その他  
 ○3～5年に一度・・・8件  
 ○年齢や医師等からの指示・・・5件

### タクシー



その他  
 ○3年に一度・・・1件

### トラック

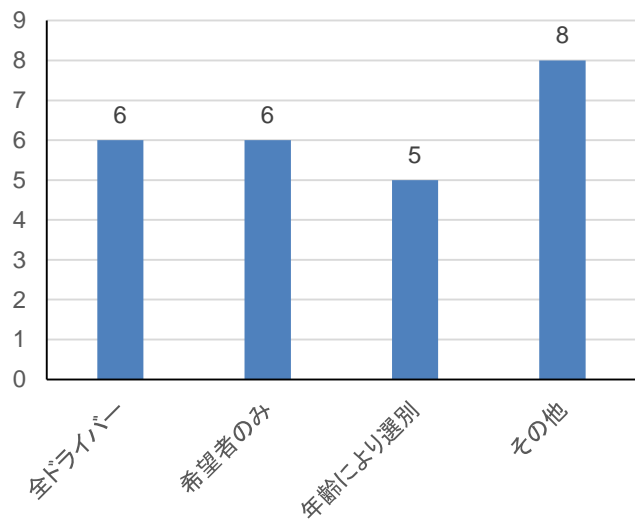


その他  
 ○年齢や数年に一度・・・6件  
 ○記載なし・・・1件

# 【脳MRI等】問30. 受診運転者の選別

○各モードとも年齢により受診者を選別している事業者が多いが、決められた年齢に一定の傾向は見られない。

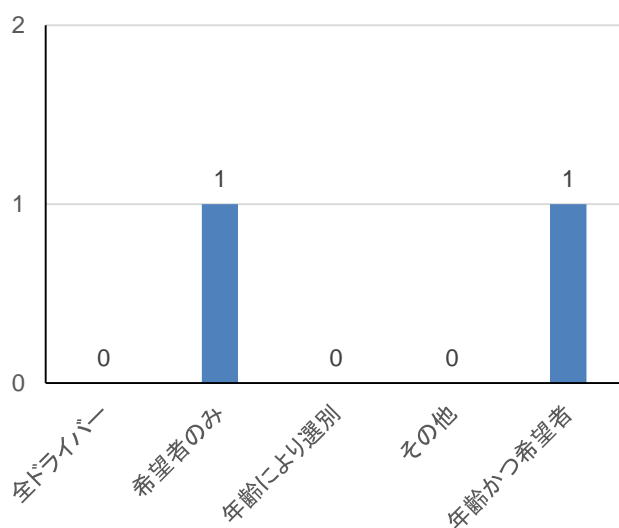
### バス



年齢により選別  
○35,40,50,57など様々…5件

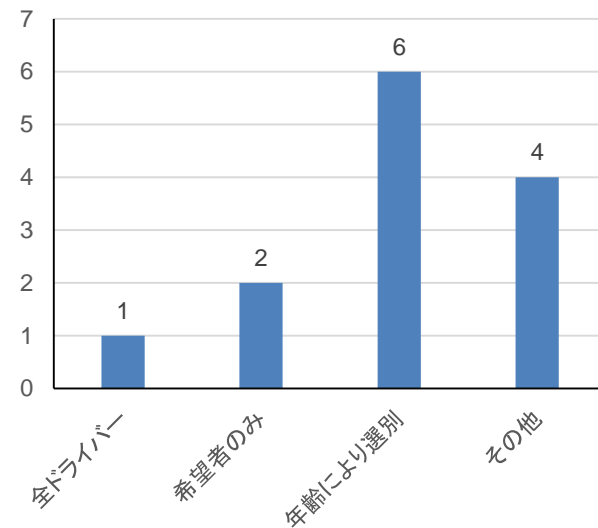
その他  
○何歳以上や産業医の意見など…8件

### タクシー



年齢により選別  
○40歳以上…1件

### トラック

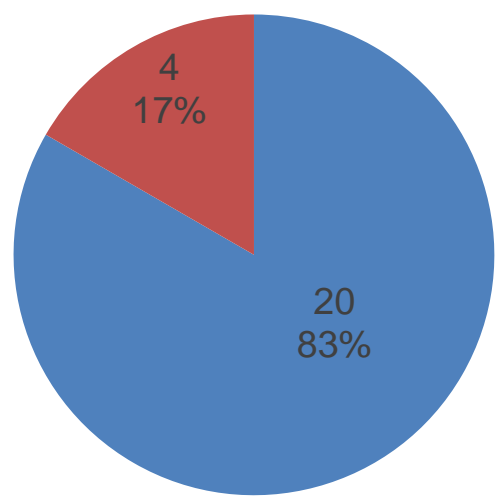


年齢により選別  
○40歳以上…1件  
○45歳以上…1件  
○記載なし…4件

その他  
○5年節目など…2件  
○長距離ドライバー…1件  
○高齢者…1件

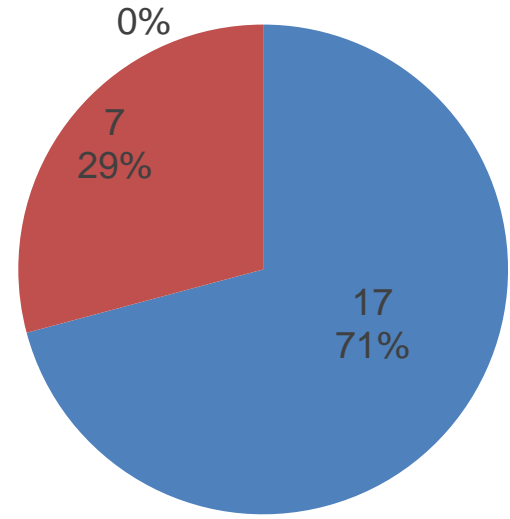
○負担感は大きいと回答している事業者は多い。  
 ○一方、必要なコストかについて回答のあった事業者は、全て必要なコストと回答している。

負担額



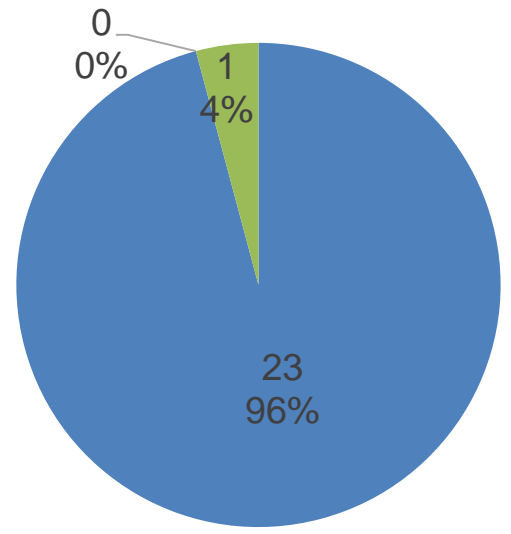
■ 0～30,000円 ■ 30,001円～

負担感



■ 大きい  
 ■ 相応  
 ■ 小さい

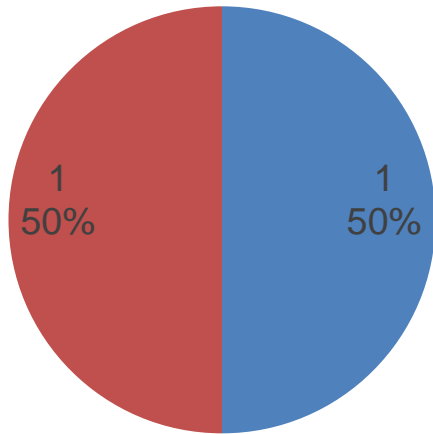
必要性



■ 必要なコスト  
 ■ 必要なコストではない  
 ■ 記載無し

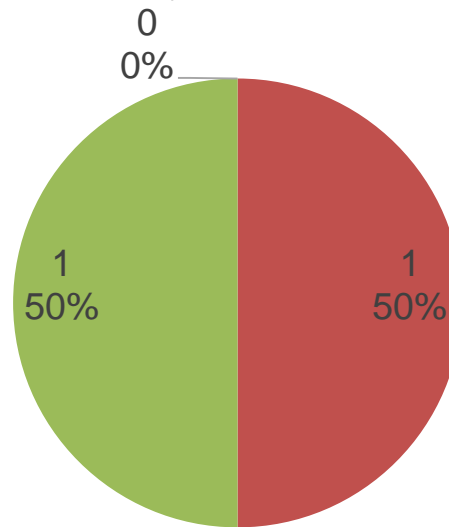
- 負担額について、「なし」が1件、「10,000円」が1件。
- 負担感で回答があったのは「相応」が1件。
- 必要性について回答があったのは「必要なコスト」が1件。

負担額



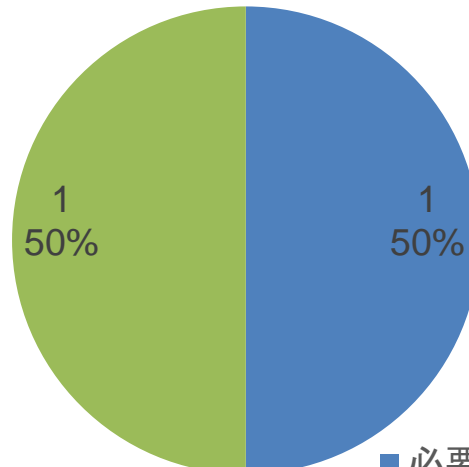
■ 0円 ■ 10,000円

負担感



■ 大きい  
■ 相応  
■ 小さい

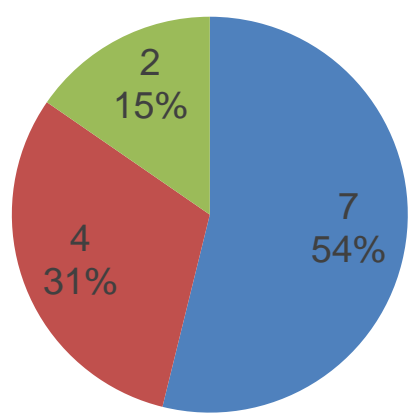
必要性



■ 必要なコスト  
■ 必要なコストではない  
■ 記載無し

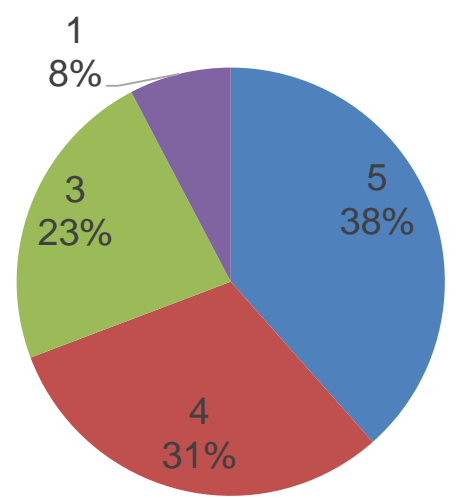
○負担額が3万円以下の事業者は54%で約半数。  
 ○負担感は「小さい」、「相応」、「大きい」の順に回答数が多くなっている。  
 ○必要性については回答のあった事業者は、全て「必要なコスト」と回答している。

負担額



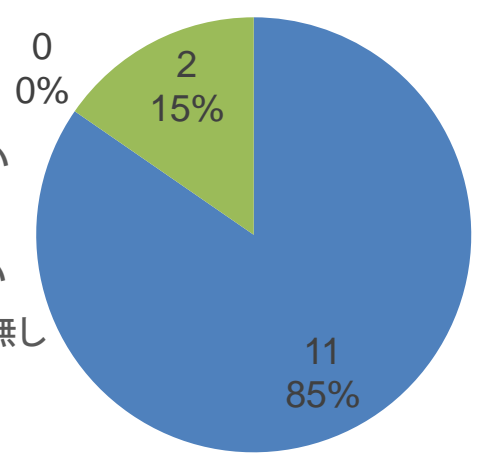
■ 0~30,000円 ■ 30,001円~ ■ 記載無し

負担感



■ 大きい  
 ■ 相応  
 ■ 小さい  
 ■ 記載無し

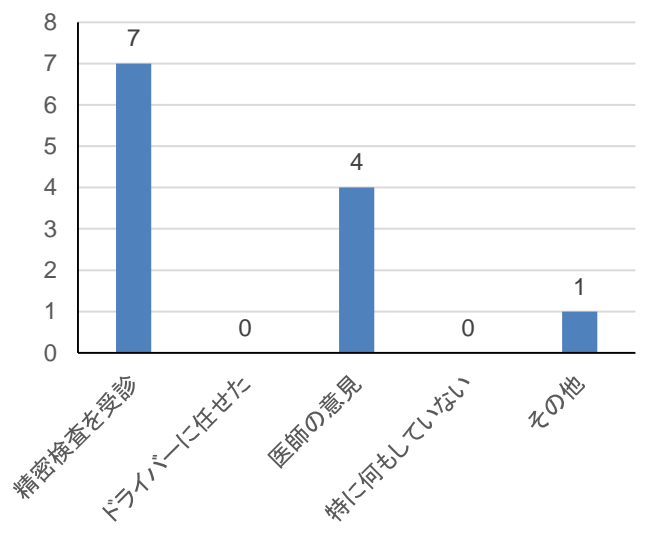
必要性



■ 必要なコスト  
 ■ 必要なコストではない  
 ■ 記載無し

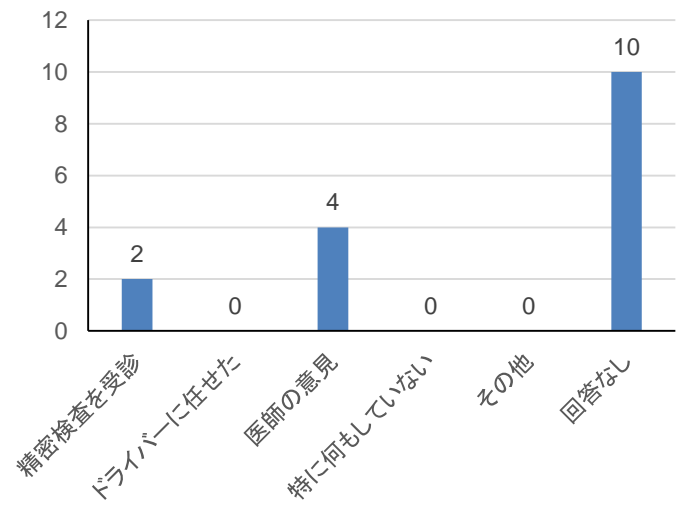
○バス、トラックとも精密検査が必要な運転者に対し、精密検査を受診させるか医師の意見を聴取し対応している。

バス



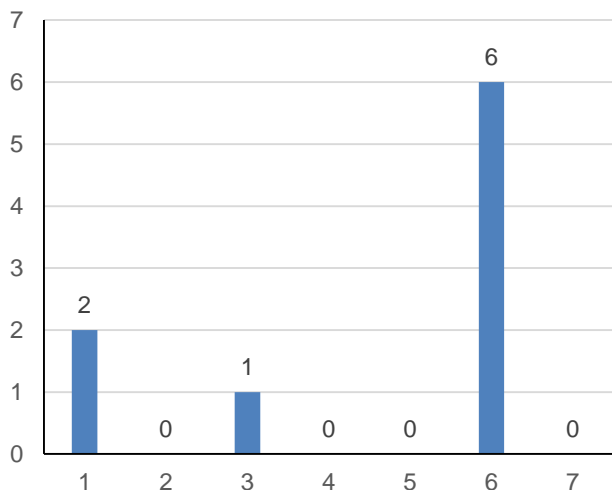
＜タクシー＞  
回答無し

トラック



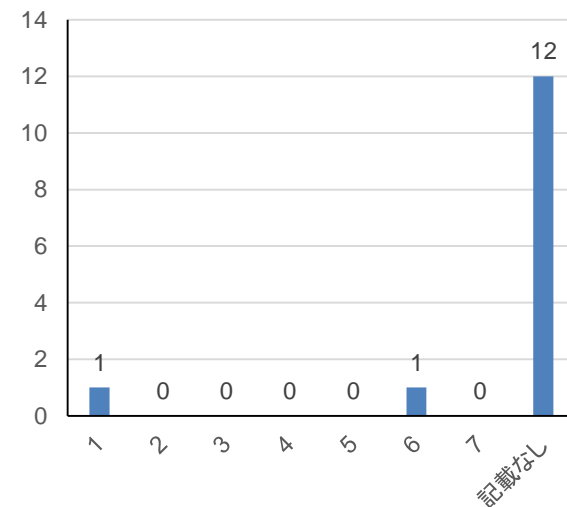
○全モードで見ると「医師の意見に従った」が7件で最も多く、次いで「治療のため休暇を命じた」が3件、「治療をしながら運送業務を続けた」が1件となっている。

バス



＜タクシー＞  
治療のため休暇を命じた・・・1件

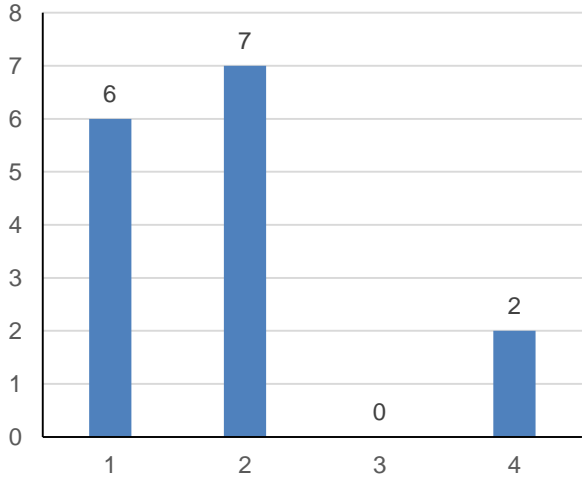
トラック



- 1. 治療のため休暇を命じた
- 2. 運送以外の業務に配置転換した
- 3. 治療をしながら運送業務を続けた
- 4. 特に対応していない
- 5. ドライバーを解雇又は他職種への転職を勧めた
- 6. 医師の意見に従った
- 7. その他

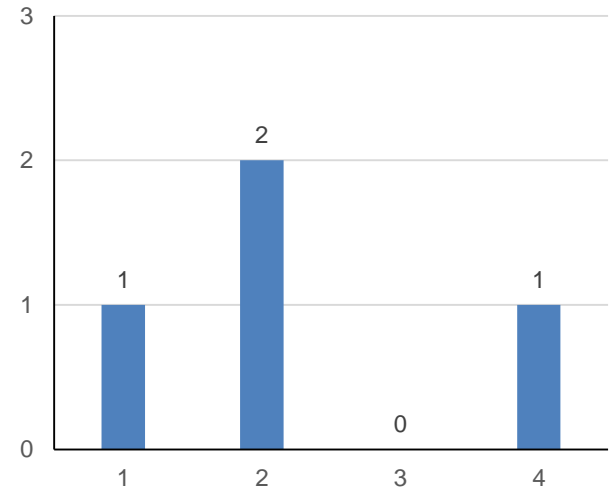
○全モードとも「ドライバーから治療の経過を聴取している」か、「医師の診断書を提出させている」などの対応をしておき、「特に対応をしていない」という回答はない。

バス



＜タクシー＞  
医師の診断書を提出させている  
・・・1件

トラック



その他  
○通院時の結果を提出させている・・・1件  
○産業医の意見を活用・・・1件

その他  
○定期的に指導している・・・1件

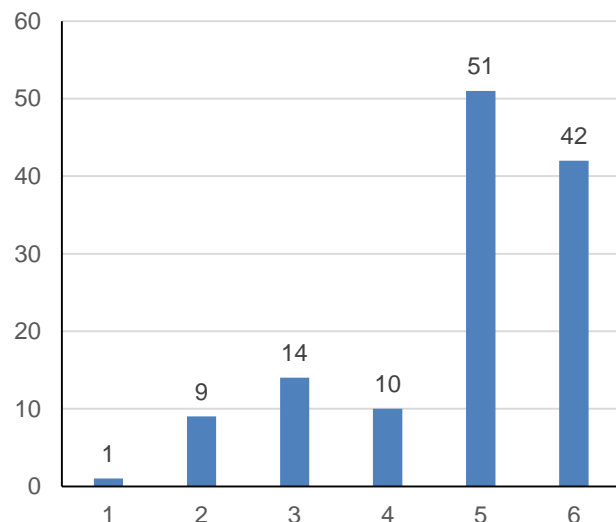
- 1. ドライバーから治療の経過を聴取している
- 2. 医師の診断書を提出させている
- 3. 特に対応していない
- 4. その他



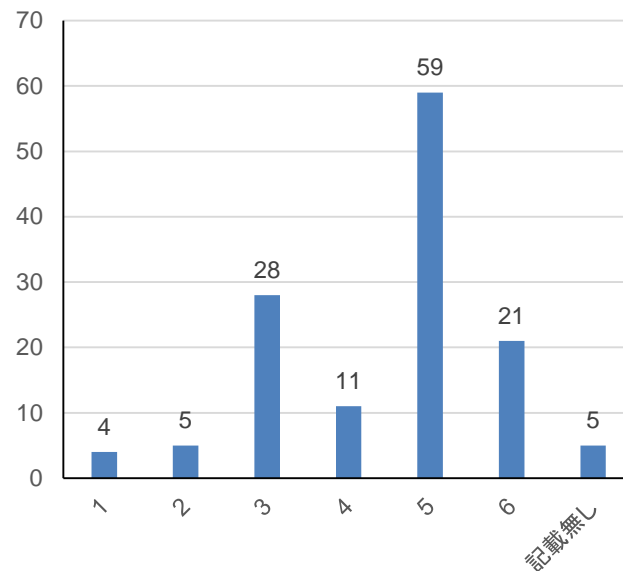
# 【脳MRI等】問35. 検査を実施していない理由

- 各モードとも検査を実施していない理由として、「受診費用の負担が大きい」が最も多い。
- 次いで、各モードとも「検査の必要性を感じないため」が多い。
- その他の回答としては、「今後受診を検討」、「受診は個人に任せている」、「脳MRI検査等の費用や検査内容が分からない」などが多い。

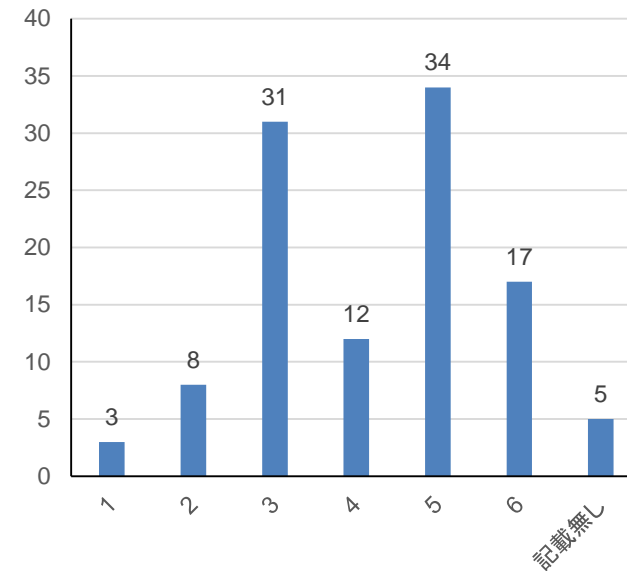
バス



タクシー



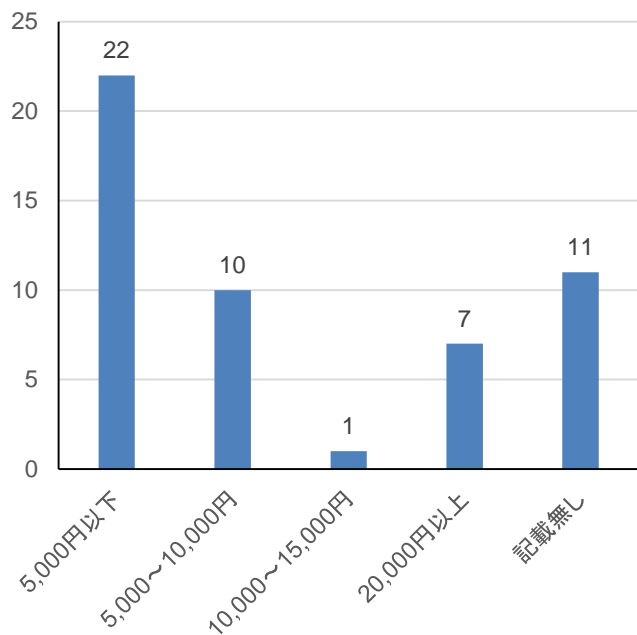
トラック



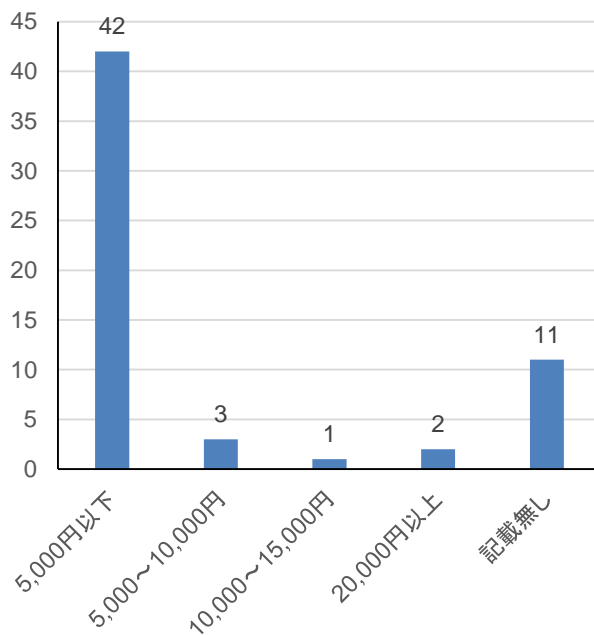
1. ドライバーから反対があったため
2. 人間ドックを受診しているので不要と思ったから
3. 検査の必要性を感じないため
4. 検査可能な病院が近くにないため
5. 受診費用の負担が大きいため
6. その他

○検査を受診していない理由として「受診費用の負担が多いため」を選んだ事業者では、全モードとも5,000円以下であれば受診可能という回答が半数以上を占めている。

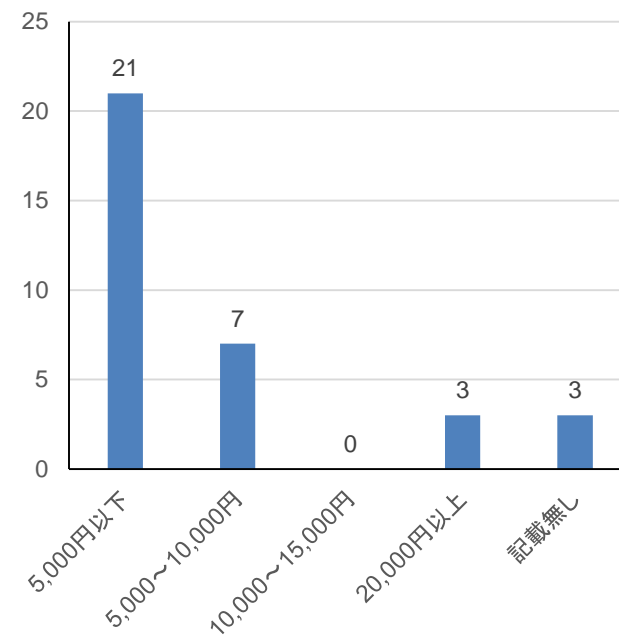
バス



タクシー



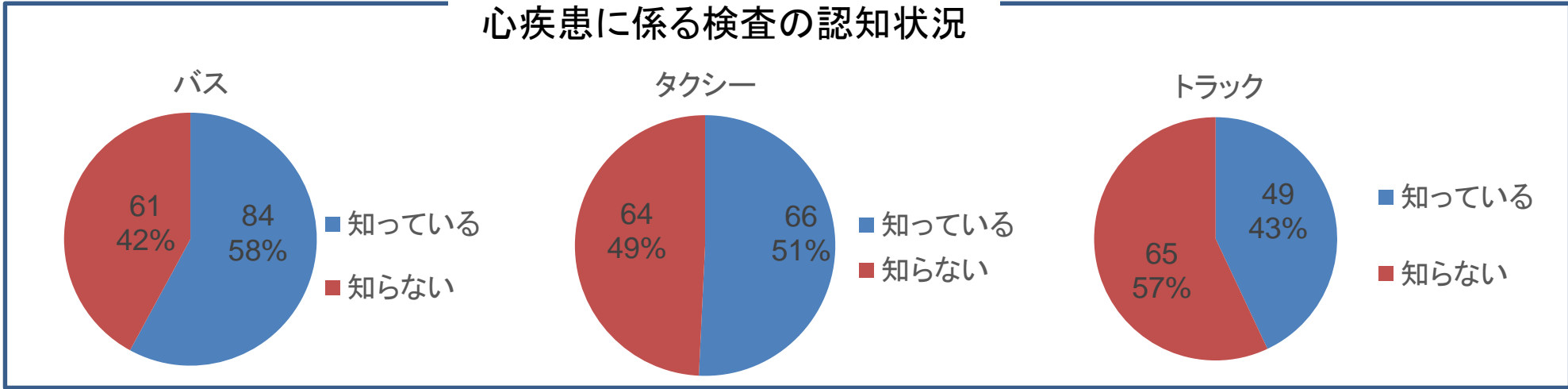
トラック



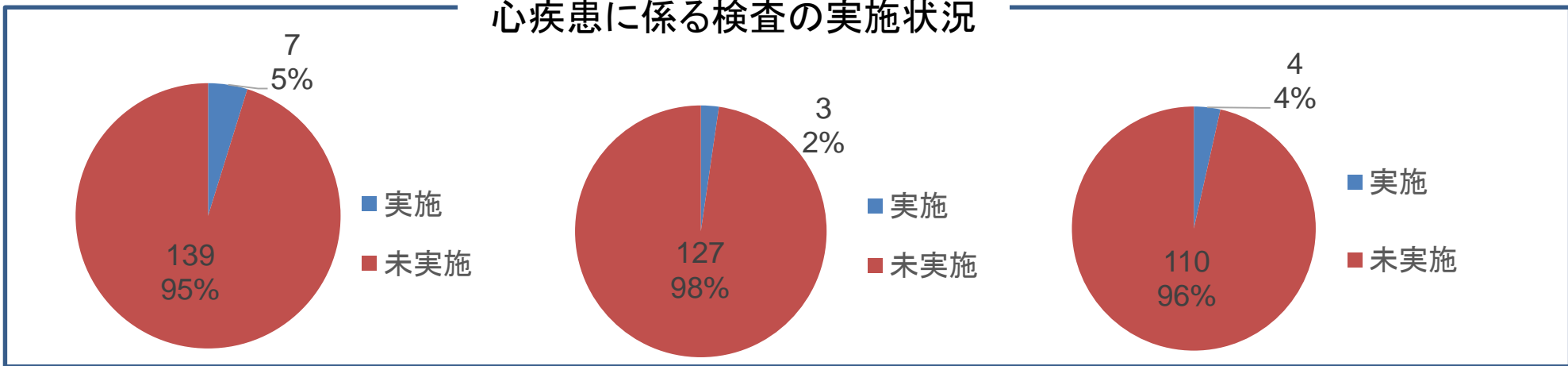
○ホルター心電図検査などの心疾患に係る検査の認知状況は、トラックが43%と半数以下であるが、バス、タクシーでは50%以上に周知されている。

○検査を受診している事業者は各モードとも5%以下で、ほとんど実施されていない。

心疾患に係る検査の認知状況

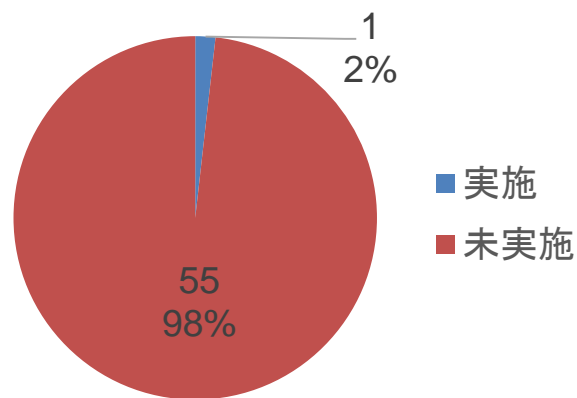


心疾患に係る検査の実施状況

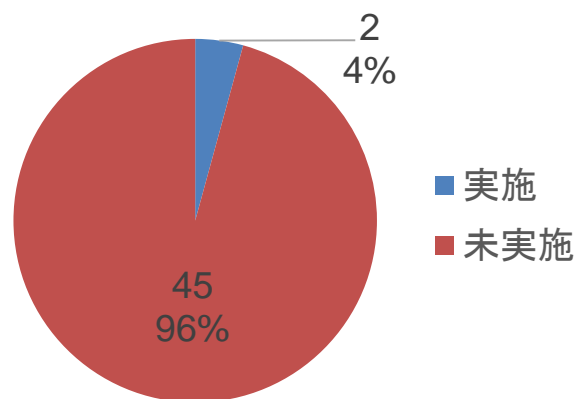


○バスは全体で5%の事業者がホルター心電図検査などの心疾患に係る検査を実施しており、実施数は全体で6件だが、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

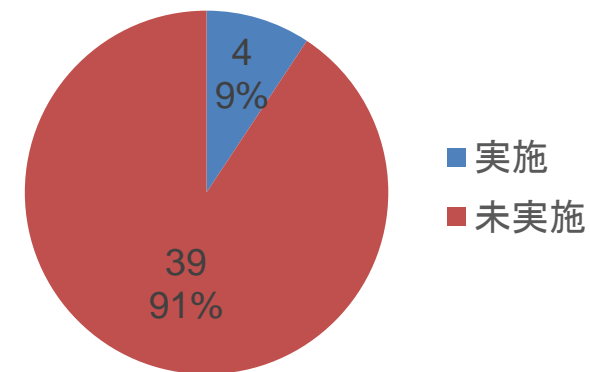
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満

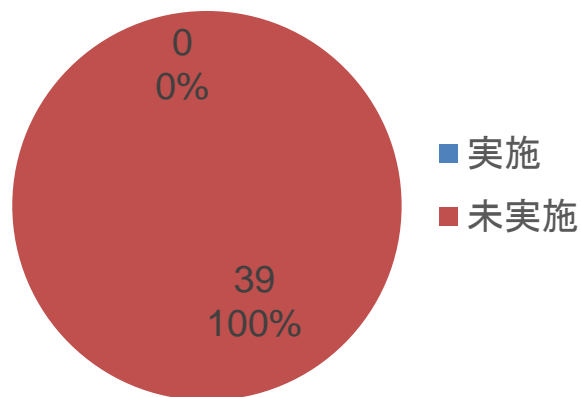


従業員数300人以上

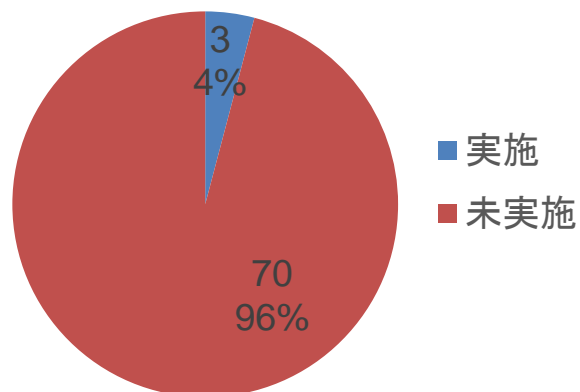


○タクシーは全体で3%の事業者がホルター心電図検査などの心疾患に係る検査を実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数50～300人未満で全3件実施している。

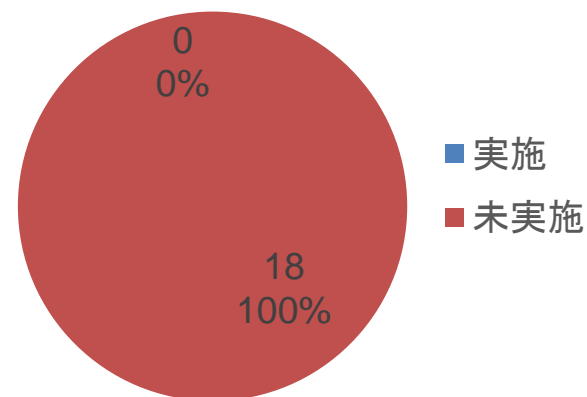
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満

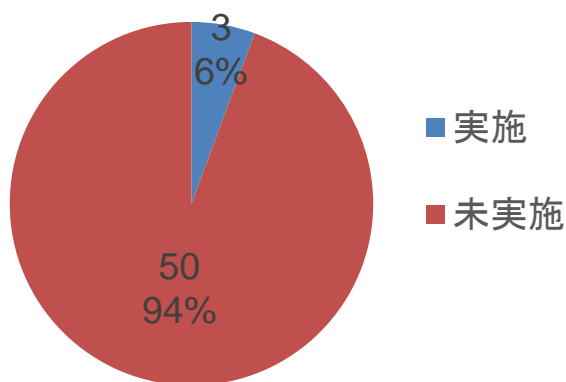


従業員数300人以上

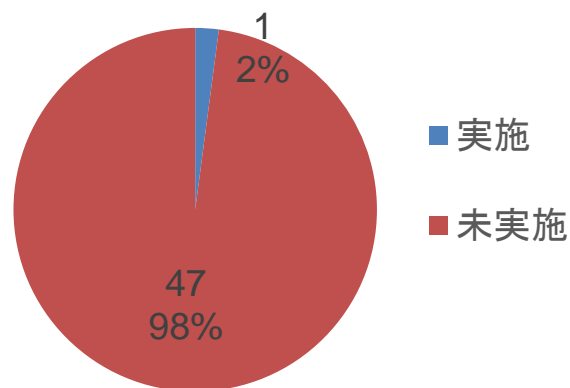


○トラックは全体で4%の事業者がホルター心電図検査などの心疾患に係る検査を実施しており、実施数は全体で4件だが、事業所の従業員規模別で比較すると、他モード、他のスクリーニング検査とは違い、従業員数が減るほど実施割合が大きくなっている。

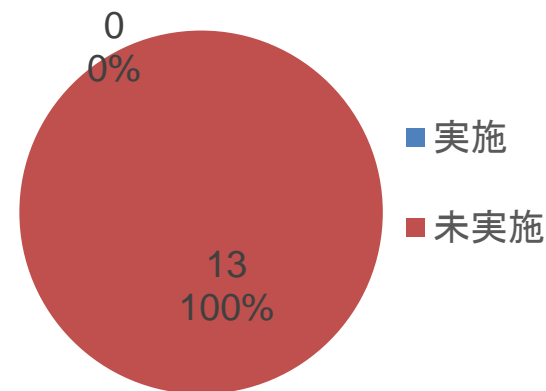
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満

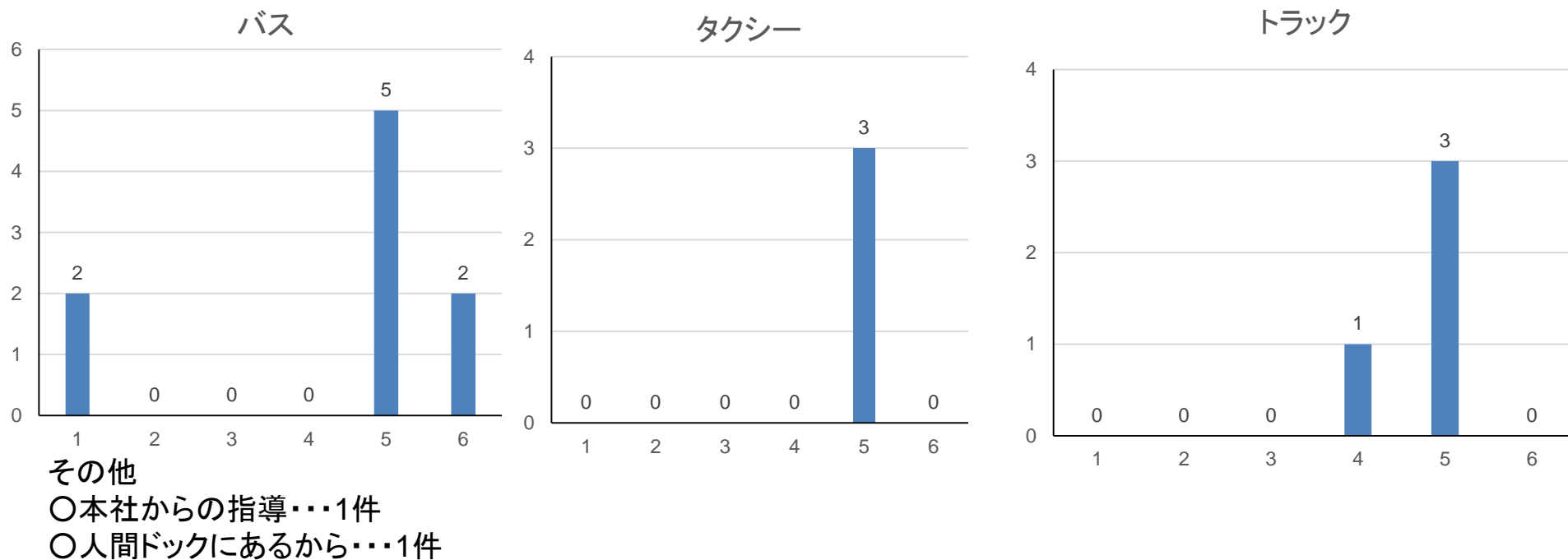


従業員数300人以上



# 【心疾患】問38. 検査を受けたきっかけ

- 受診のきっかけとして、各モードとも「自主的に安全管理で必要だと思ったから」との回答が多い。
- 次いで、「国土交通省で推奨しているから」が2件、「心疾患の疑いがあるドライバーがいたから」が1件となっている。
- その他では、「グループ統一基準で運用」、「定期健康診断で実施」となっている。

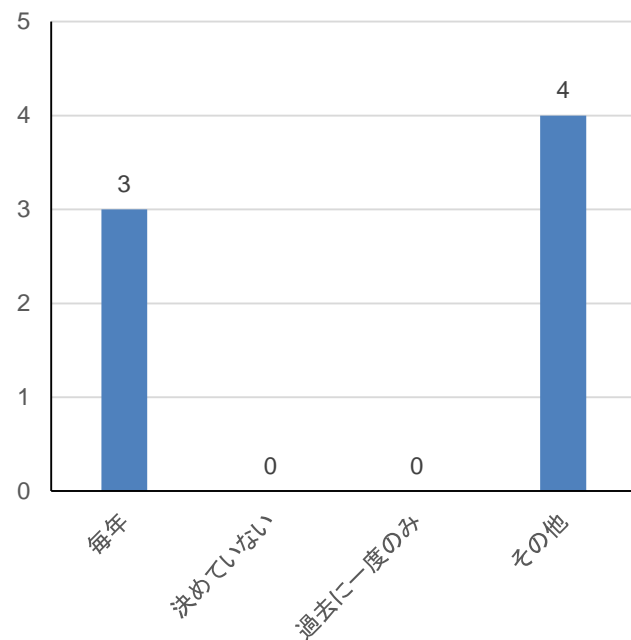


1. 国土交通省で推奨しているから
2. 企業のイメージアップ
3. 過去に心疾患起因事故を起こしたドライバーがいたから
4. 心疾患の疑いがあるドライバーがいたから
5. 自主的に安全管理で必要だと思ったから
6. その他

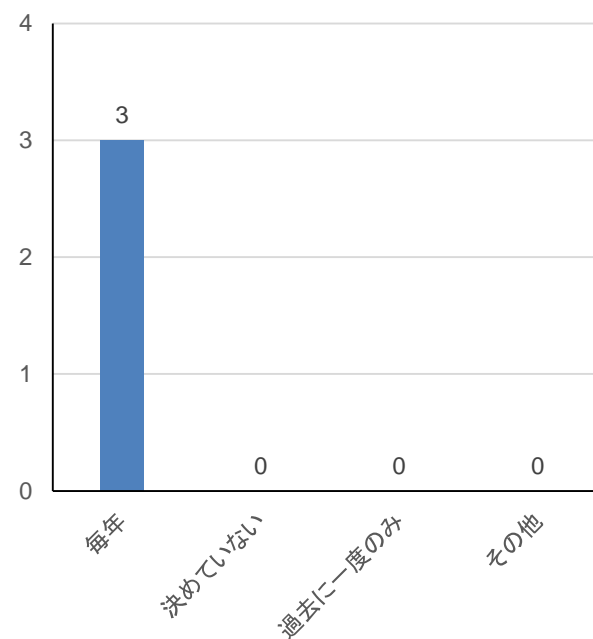
# 【心疾患】問39. 検査の受診頻度

- タクシー、トラックでは毎年受診が多い。
- バスではその他「4～5年に一度」が4件と最多であり、次いで「毎年」が3件となっている。

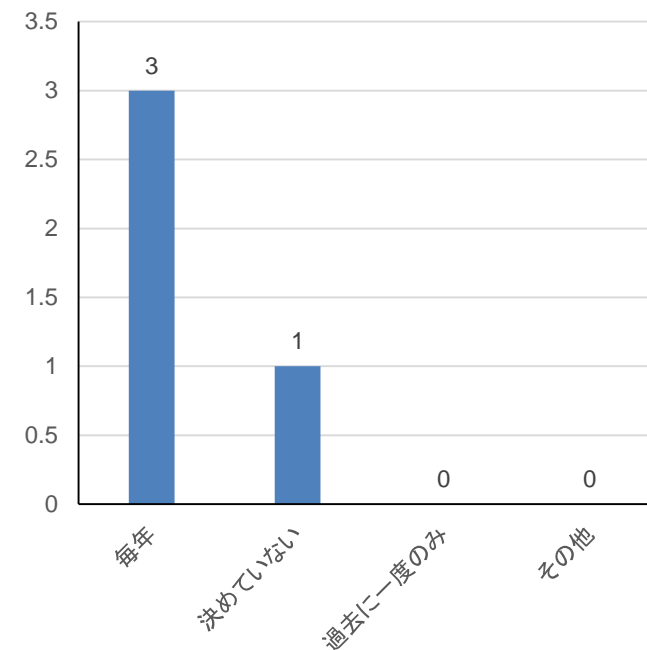
バス



タクシー



トラック



その他  
○4～5年に一度・・・4件



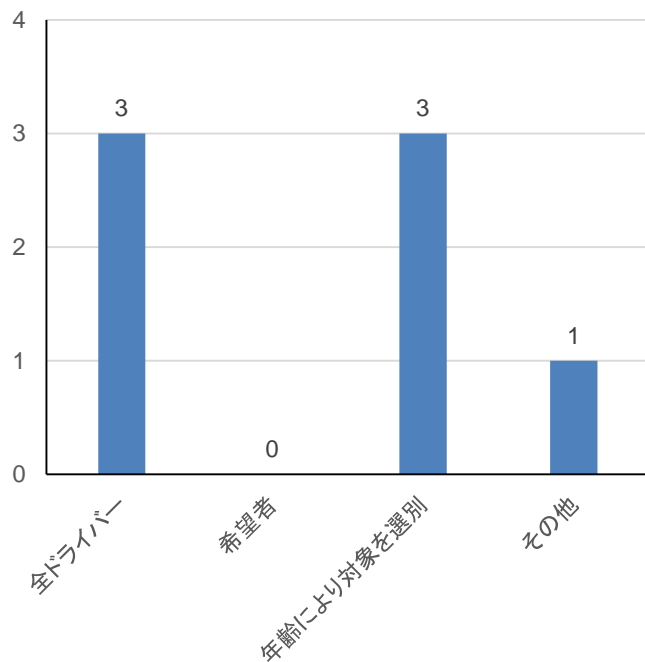
# 【心疾患】問40. 受診運転者の選別

○バスは「全ドライバー」が3件で最も多く、次いで「40歳以上」が2件、「個別に年齢を設定」が2件となっている。

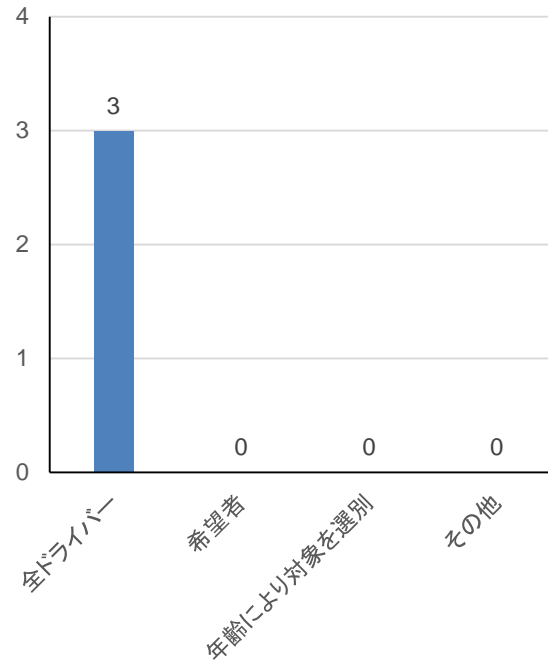
○タクシーは3件全てが「全ドライバー」を対象としている。

○トラックは「希望者」が2件、「全ドライバー」、「40歳以上」が各1件となっている。

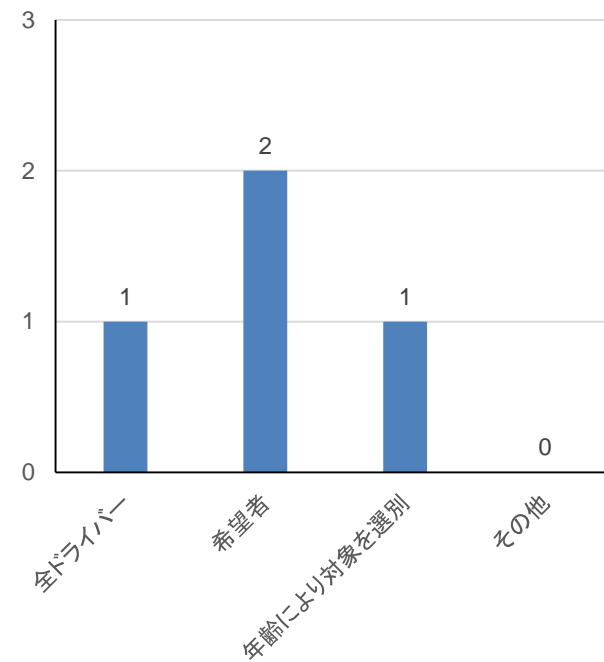
バス



タクシー



トラック



年齢により選別、その他

○40歳以上…2件

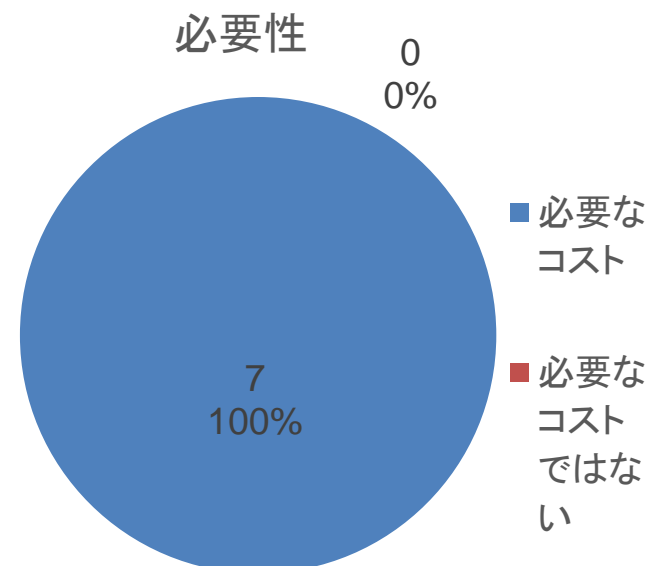
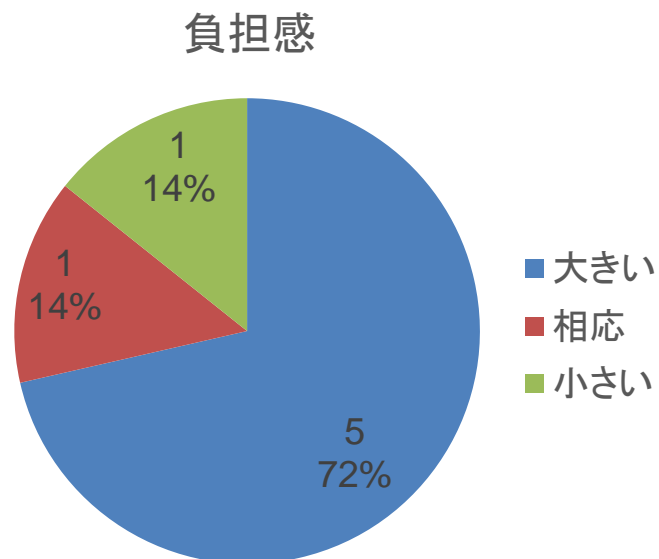
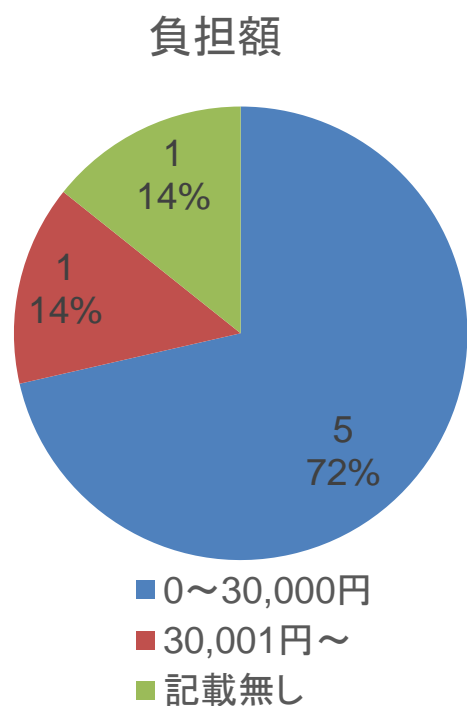
○48歳以上…1件

○年齢48、53、58、63、68歳の時に受診…1件

年齢により選別

○40歳以上…1件

- 負担額が30,000円以下が5件で72%を占めている。
- 負担感が「大きい」が5件で72%を占めている。
- 全ての事業者が必要性的については「必要なコスト」と回答。



○負担額が7,038円、補助なしが1件あり、費用への負担感は大いだが、必要なコストであると認識していると回答。

負担額	補助額	負担感			必要性	
		大きい	相応	小さい	必要なコスト	必要なコストではない
7,038円	0円	大きい	相応	小さい	必要なコスト	必要なコストではない
1	1	1	0	0	1	0

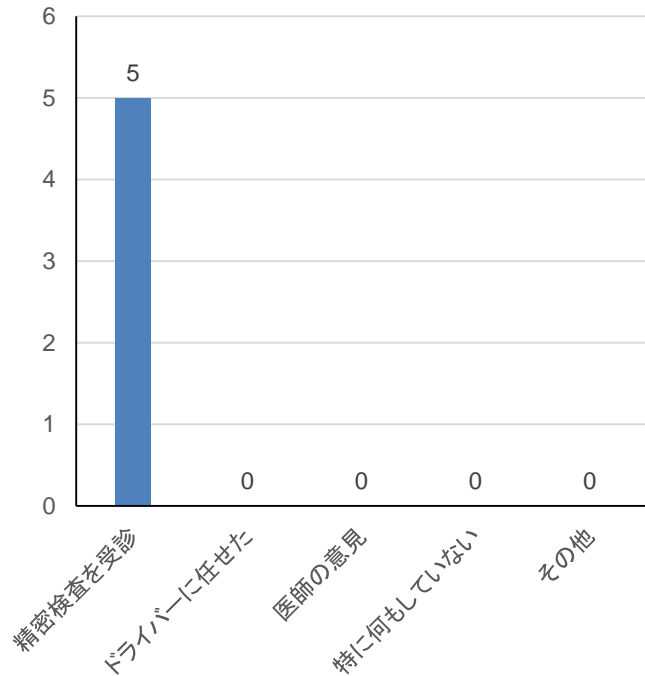
※回答は1件のみ  
 ※※回答なしは2件

○負担額1,700円の補助なしと回答した1件について、費用の負担感は相応と回答。  
 ○負担額、補助額の回答がないものも含め、実施している事業者は、3件全てが必要なコストであると回答。

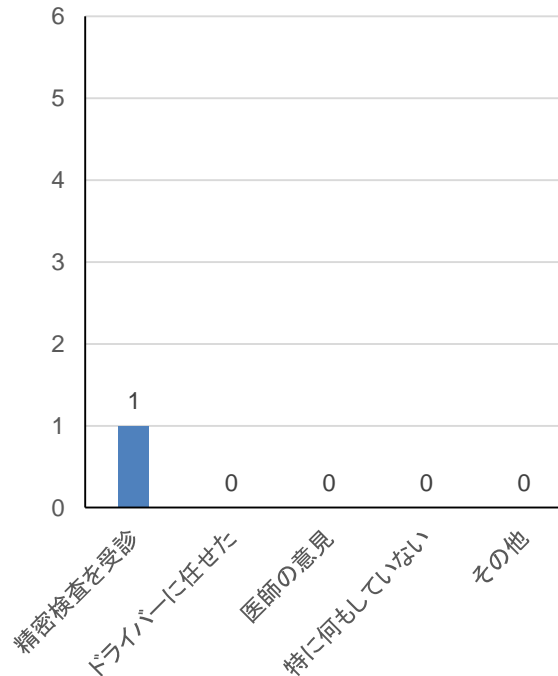
負担額	補助額	負担感			必要性	
		大きい	相応	小さい	必要なコスト	必要なコストではない
1,700円	0	0	1	0	1	0
記載無し	記載無し	大きい	相応	小さい	必要なコスト	必要なコストではない
2	2	1	0	1	2	0

- バスの5件は全ての回答で「精密検査を受診させた」と回答。
- タクシーについては、1件のみの回答ではあるが「精密検査を受診させた」と回答。
- トラックについては、1件のみの回答ではあるが「ドライバーに任せた」と回答。

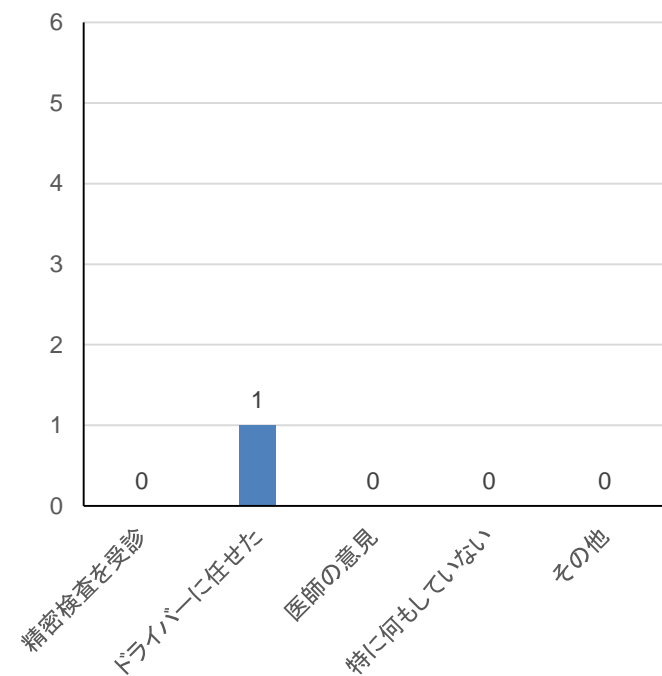
### バス



### タクシー

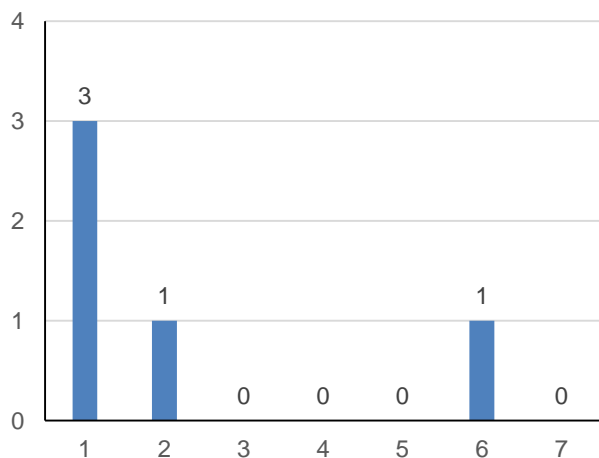


### トラック

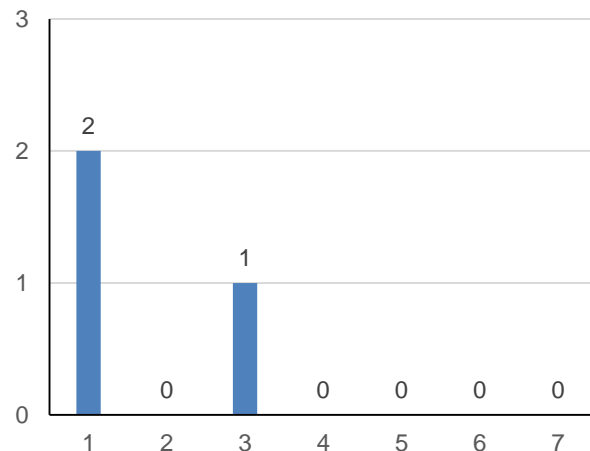


○バス、タクシーとも疾病の見つかった運転者に対し、「治療のため休暇を命じた」が多く、バスにあっては「運送以外の業務に配置転換した」、「医師の意見に従った」、タクシーでは「治療をしながら運送業務を続けた」が各1件回答。

バス



タクシー

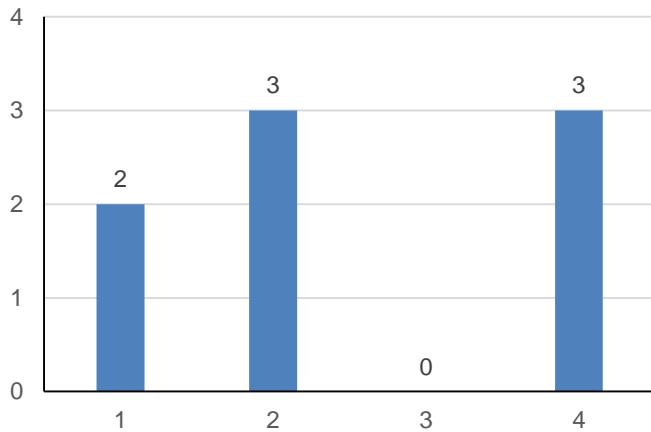


＜トラック＞  
該当なし

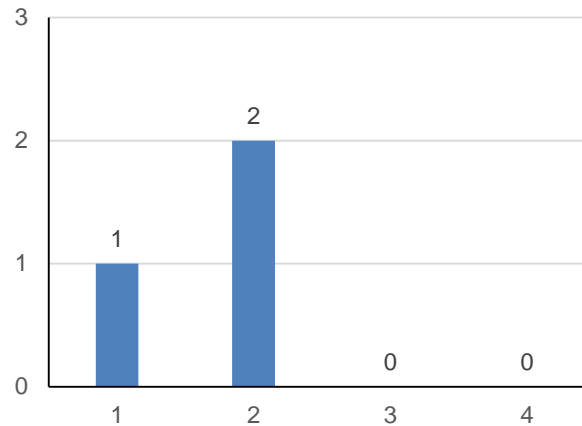
1. 治療のため休暇を命じた
2. 運送以外の業務に配置転換した
3. 治療をしながら運送業務を続けた
4. 特に対処していない
5. ドライバーを解雇又は他職種への転職を勧めた
6. 医師の意見に従った
7. その他

- バス、タクシーとも「ドライバーから治療の経過を聴取している」、「医師の診断書を提出させている」という適切な対応がされている。
- バスの「その他」3件については、「産業医からの意見聴取」が2件、「運送に従事しないので個人に任せている」が1件となっている。

バス



タクシー



＜トラック＞  
該当なし

その他

- 産業医の指示に従っている
- 運送に従事しないので個人に任せている
- 治療の経過を聴取するとともに産業医の指示に従っている

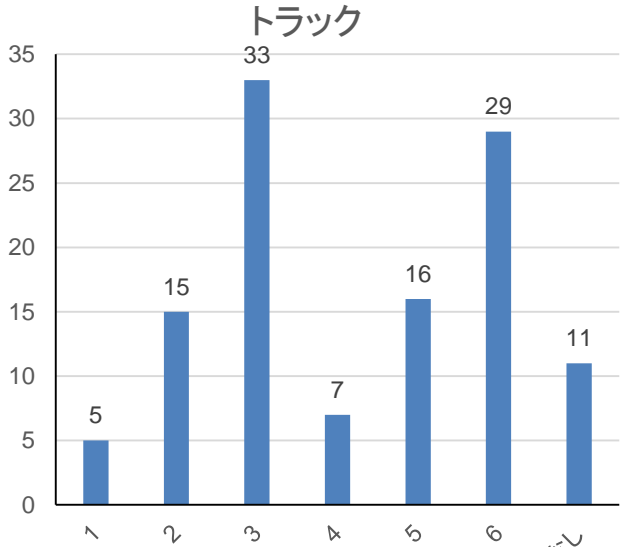
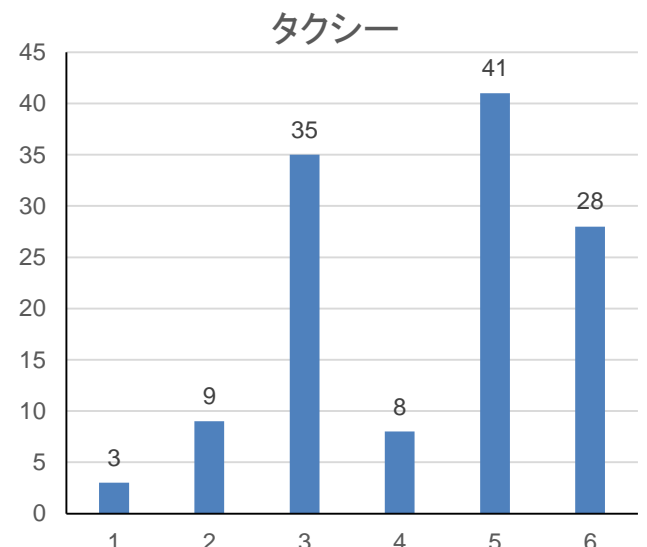
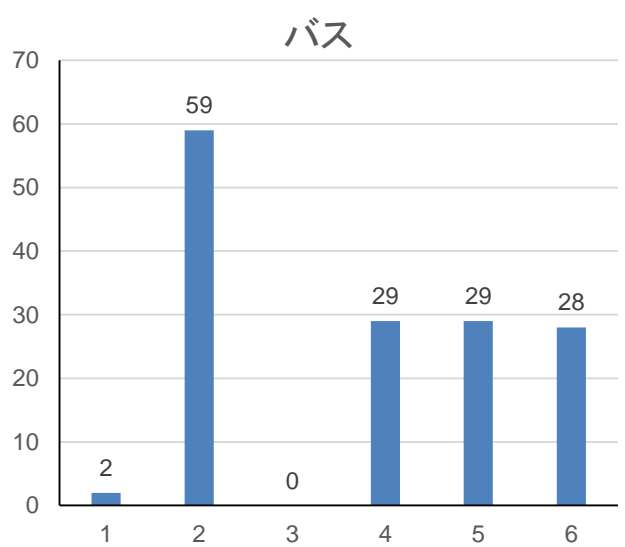
1. ドライバーから治療の経過を聴取している    2. 医師の診断書を提出させている  
3. 特に対応していない    4. その他

# 【心疾患】問45. 検査を実施していない理由

○バスでは「人間ドックを受診しているので不要と思ったから」との回答が最も多く、次いで「検査可能な病院が近くにないため」、「受診費用の負担が大きいため」が多い。

○タクシーでは、「受診費用の負担が大きいため」との回答が最も多く、次いで「検査の必要性を感じないため」という回答が多い。

○トラックでは、「検査の必要性を感じないため」が最も多く、次いで「受診費用の負担が大きいため」が多い。



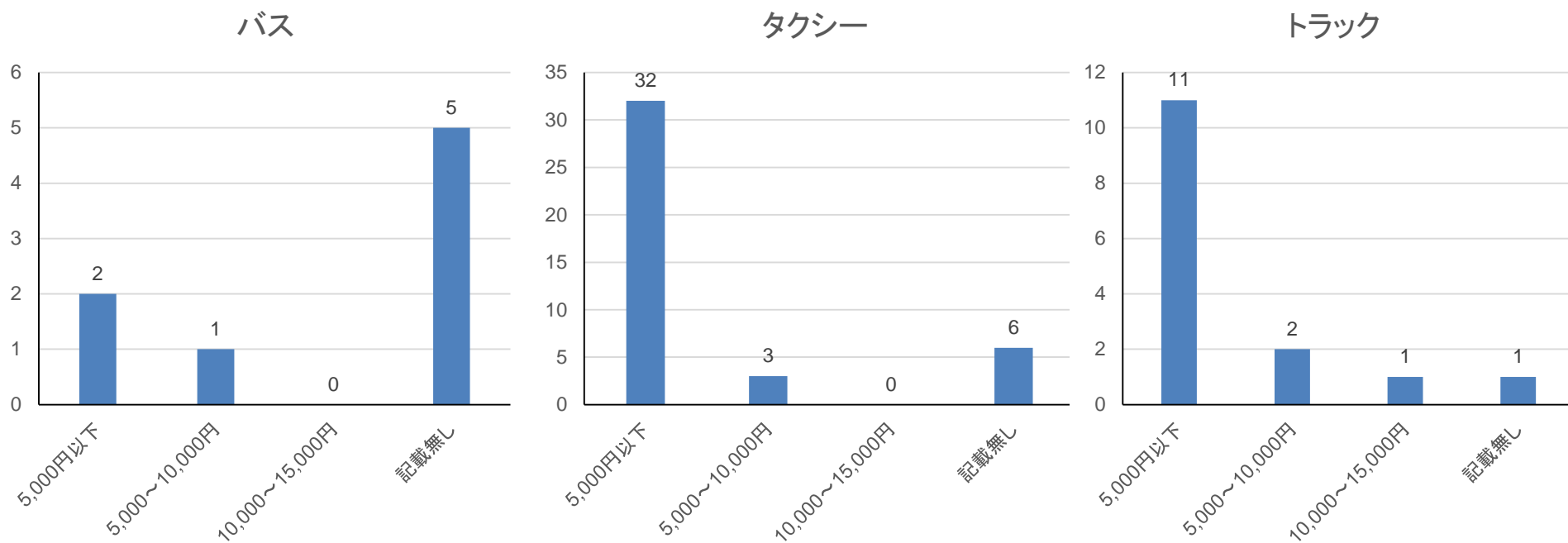
## その他

○各モードとも、その他では定期健康診断での心電図検査を実施しているため不要と思った、検査を知らなかった、今後受診を検討などが多く回答。

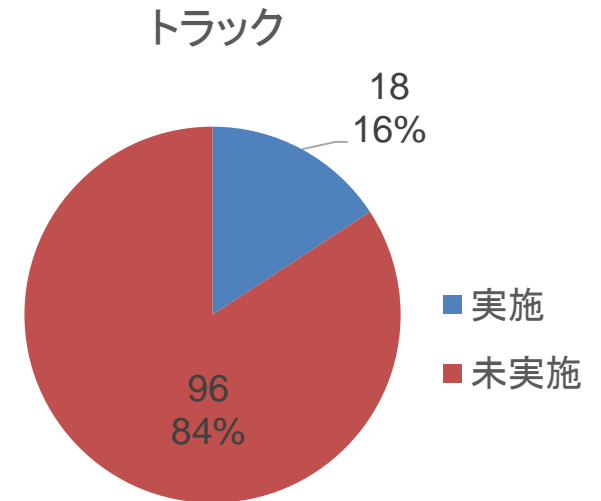
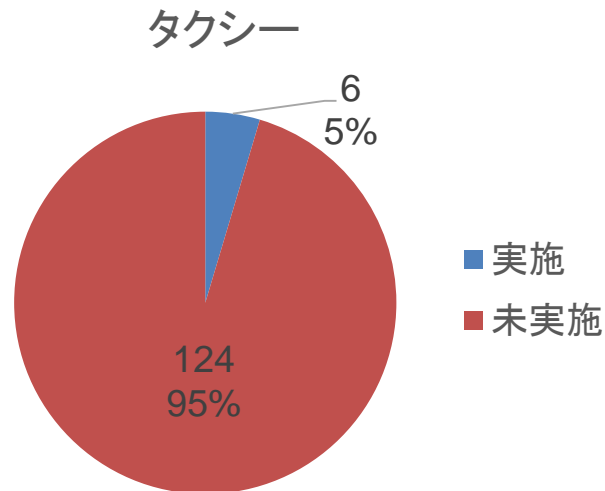
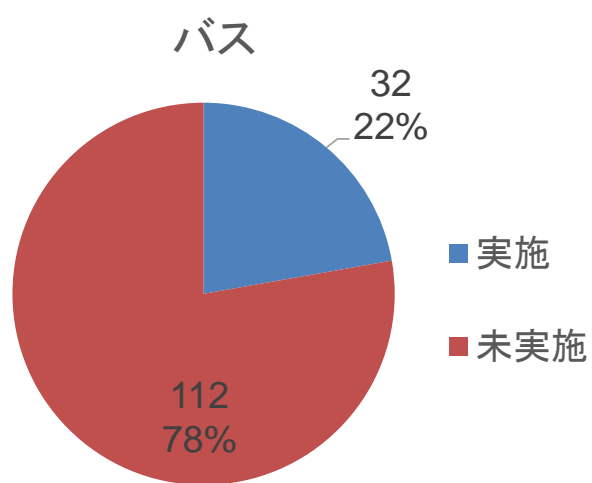
- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. ドライバーから反対があったため | 2. 人間ドックを受診しているため不要と思ったから |
| 3. 検査の必要性を感じないため   | 4. 検査可能な病院が近くにないため        |
| 5. 受診費用の負担が大きいため   | 6. その他                    |



○検査を受診していない理由として「受診費用の負担が大きい」と選択した事業者では、全モードとも5,000円以下であれば受診可能という回答が半数以上を占めている。

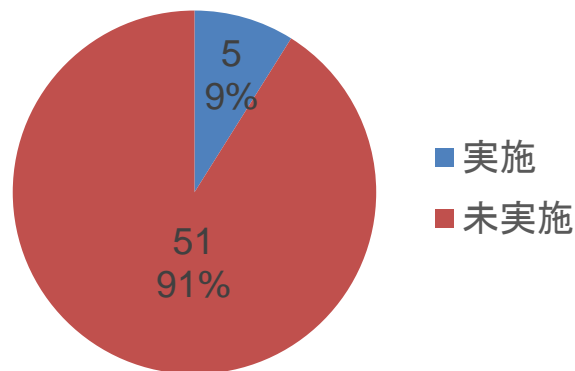


○人間ドックの実施状況は、モード毎に比較するとバスが22%実施で最も多く、次いでトラックが16%、タクシー5%となっている。

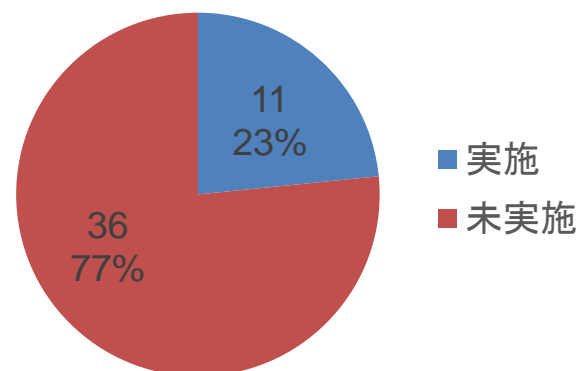


○バスは全体で22%の事業者が人間ドックを実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

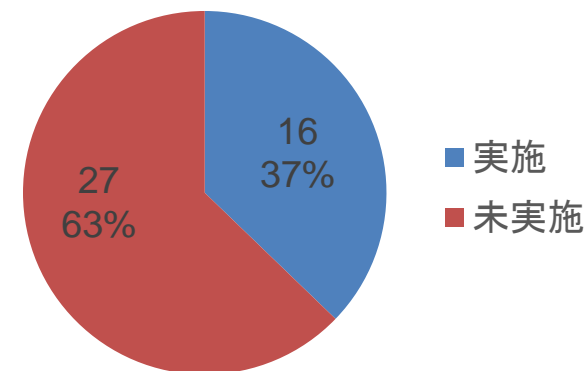
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満

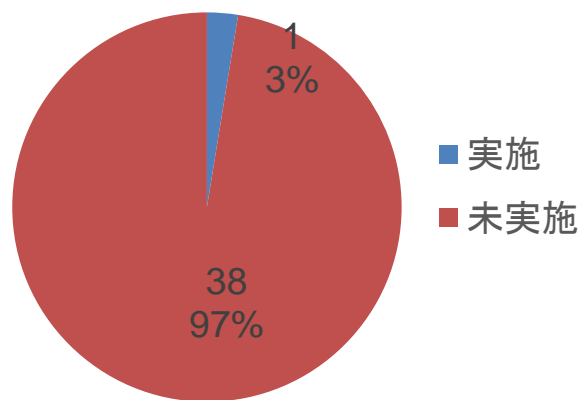


従業員数300人以上

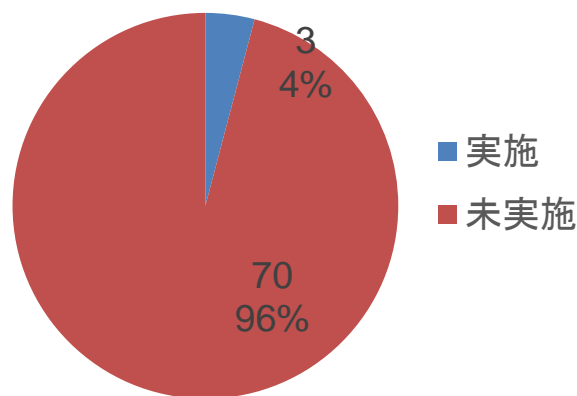


○タクシーは全体で5%の事業者が人間ドックを実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

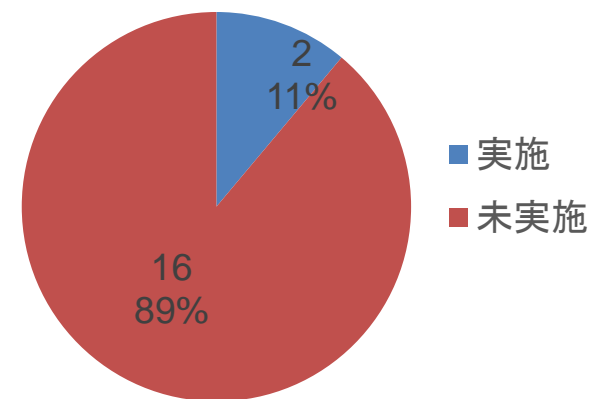
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満

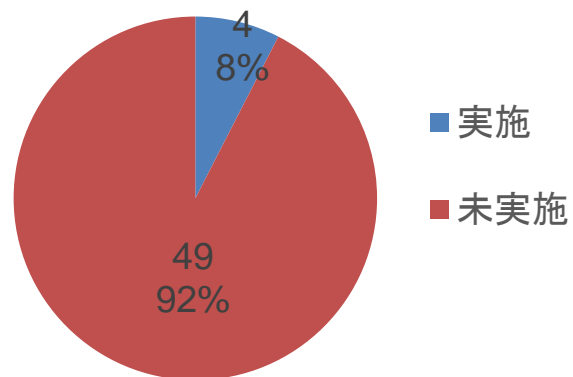


従業員数300人以上

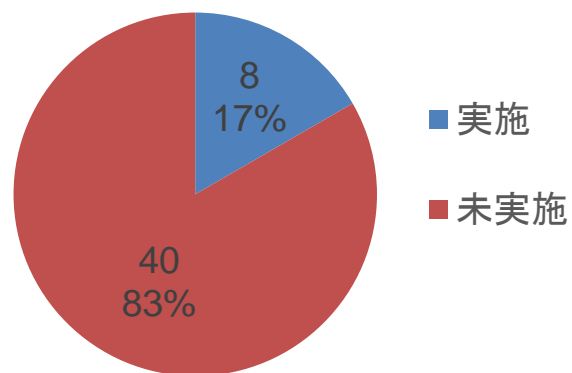


○トラックは全体で16%の事業者が人間ドックを実施しており、事業所の従業員規模別で比較すると、従業員数が増えるほど実施割合が大きくなっている。

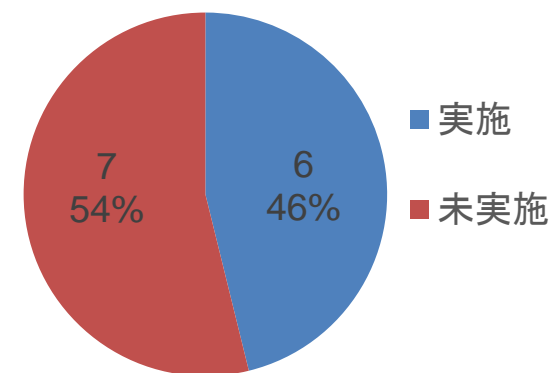
従業員数50人未満



従業員数50～300人未満



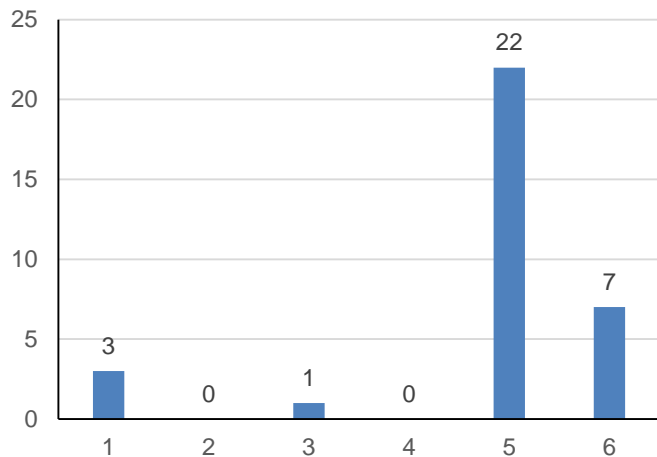
従業員数300人以上



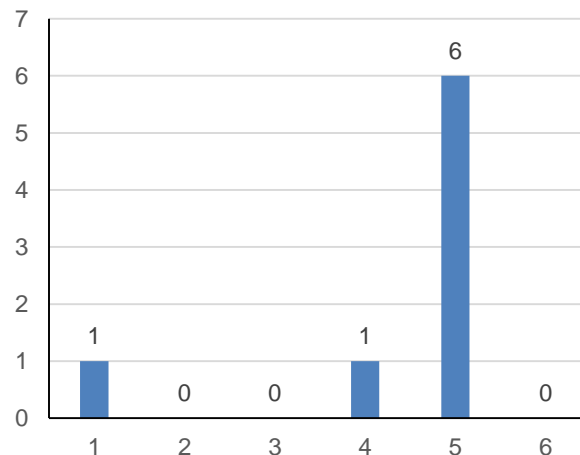
# 【人間ドック】問47. 検査を受けたきっかけ

- 受診のきっかけとして、各モードとも「自主的に安全管理で必要だと思ったから」との回答が多く、次いで「国土交通省で推奨しているから」の回答が多い。
- 他モードと比較し、トラックにあっては「健康に問題が有りそうなドライバーがいたから」と回答した割合が大きい。

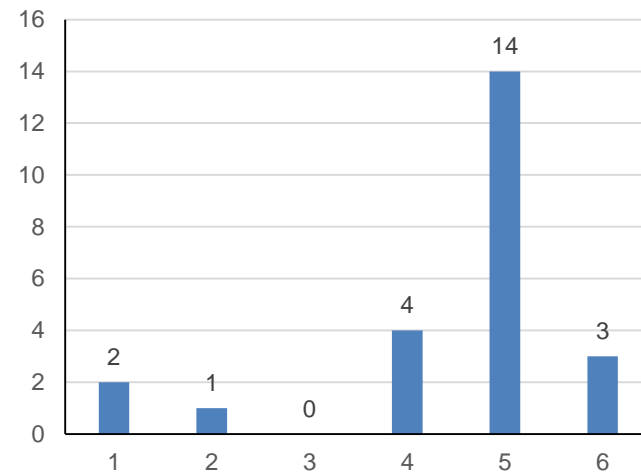
バス



タクシー



トラック



## その他

- 福利厚生の一環
- 全社的な取組
- 健保補助があったため など

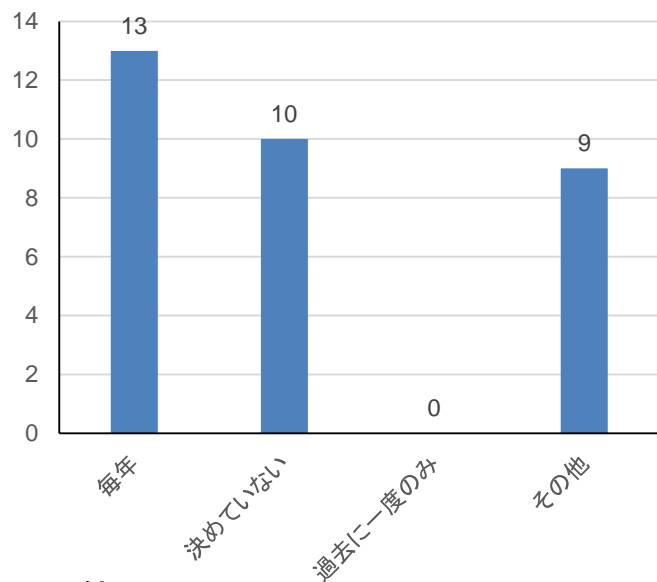
## その他

- 5年毎に受診するよう決めている
- 健保補助があったため

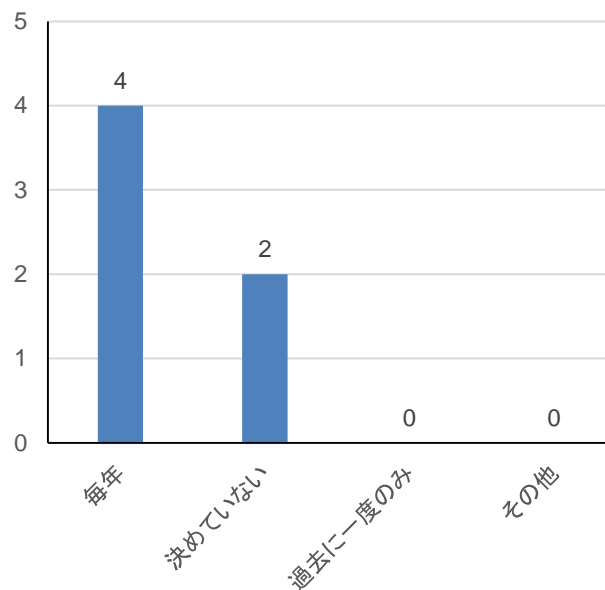
1. 国土交通省で推奨しているから
2. 企業のイメージアップ
3. 過去に健康起因事故を起こしたドライバーがいたから
4. 健康に問題が有りそうなドライバーがいたから
5. 自主的に安全管理で必要と思ったから
6. その他

○各モードとも「毎年」受診の回答が多く、次いで「決めていない」が続く。

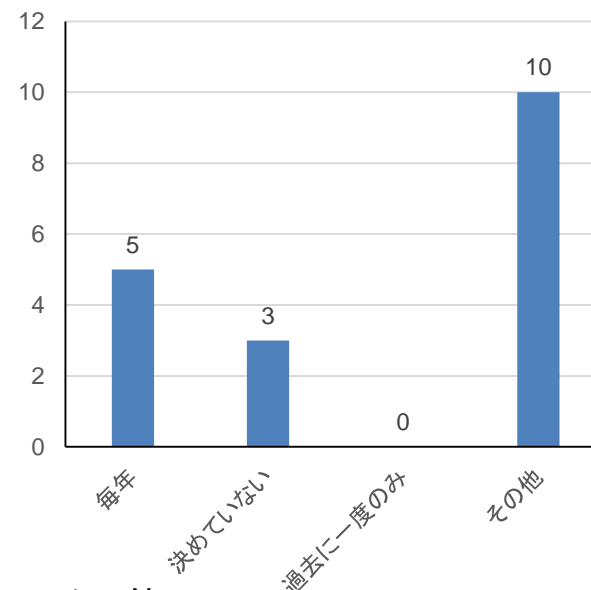
### バス



### タクシー



### トラック



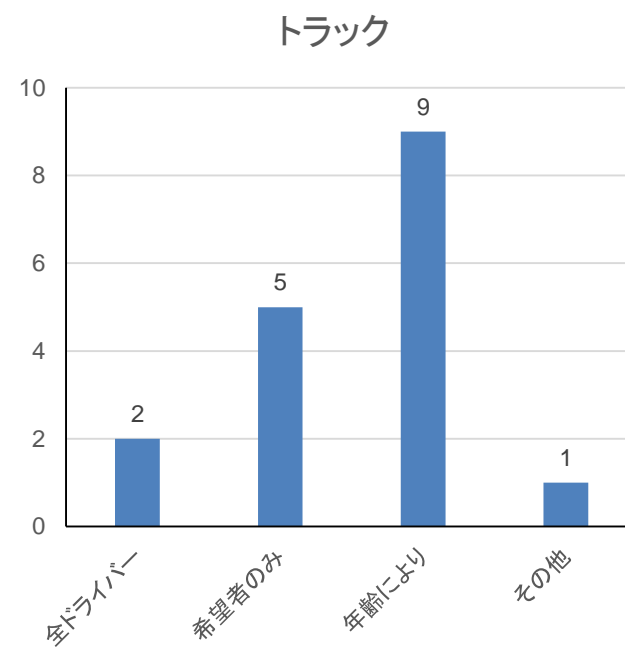
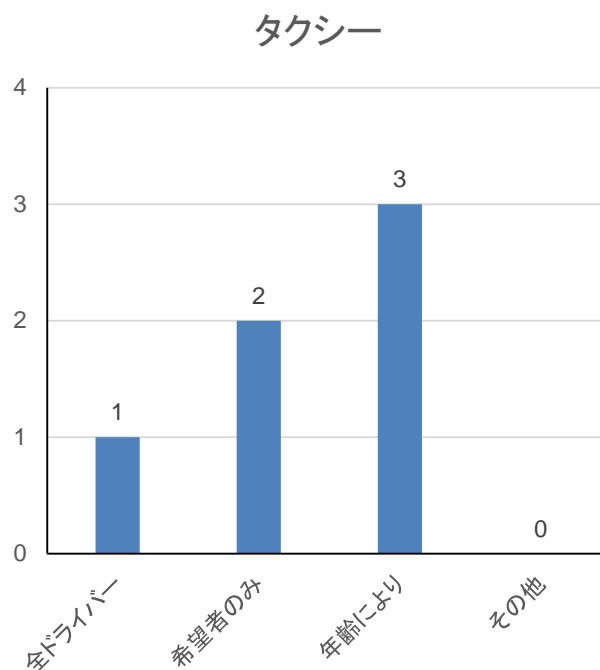
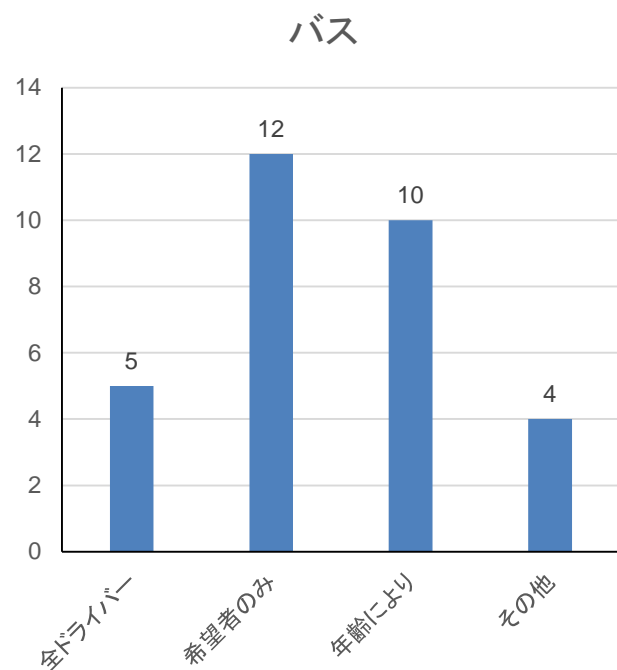
その他

- 希望者が受診
- 40歳以上、45歳以上など特定の年齢を対象
- 5年ごとや10年ごとに受診

その他

- 希望者が受診
- 40歳以上、45歳以上など特定の年齢を対象
- 5年ごとや10年ごとに受診

○バスにあつては「希望者のみ」に受診させているという回答が多い。  
 ○タクシー、トラックにあつては「年齢により選別」の回答が多く、35,40,45歳以上など各事業者で年齢の設定に幅がある。

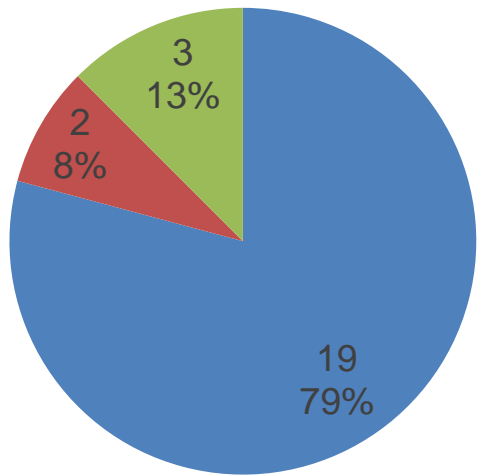


年齢により対象を選別、その他  
 ○35,40,45歳以上など特定の年齢以上に受診させている



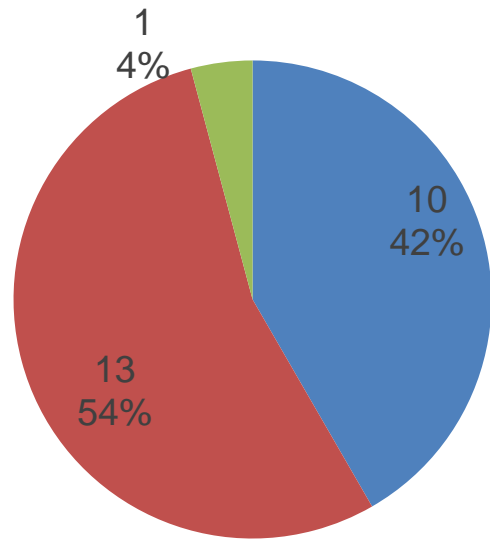
○負担額が2万円以下19件、2～3万円2件の回答。  
 ○費用への負担感は「大きい」が10件、「相応」が最多の13件、「小さい」が1件となっている。  
 ○必要性については全ての事業者が「必要なコスト」と回答。

負担額



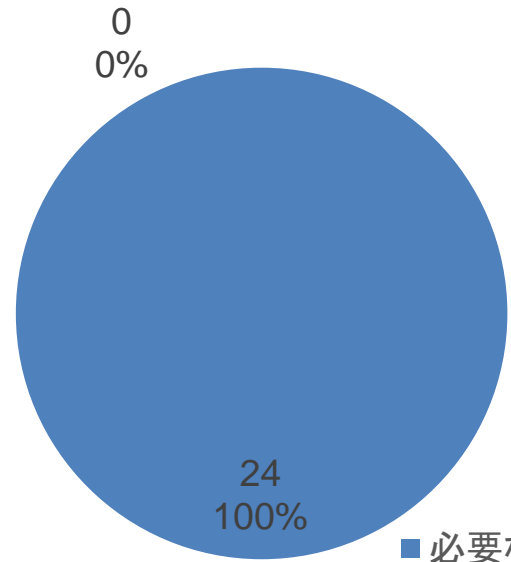
■ 0～20,000円  
 ■ 20,001～30,000円  
 ■ 記載無し

負担感



■ 大きい  
 ■ 相応  
 ■ 小さい

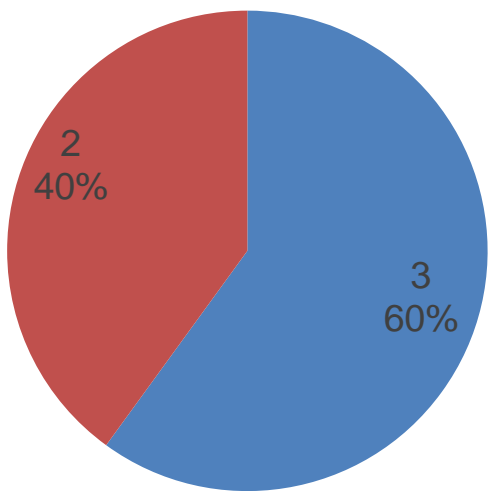
必要性



■ 必要なコスト  
 ■ 必要なコストではない

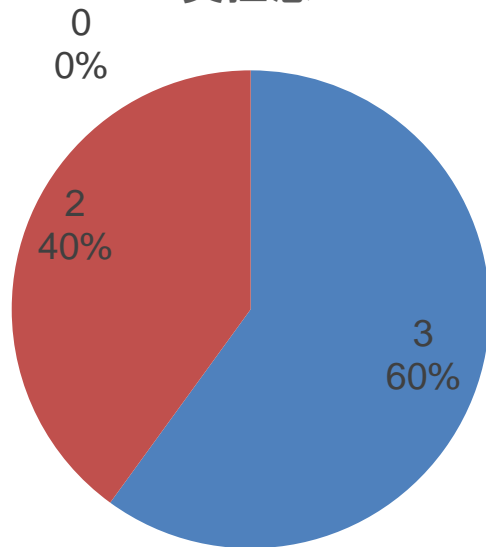
○負担額3万円以下で5件実施されており、費用の負担感は「大きい」が3件、「相応」が2件と回答。  
 ○負担額に関係なく、全ての事業者が「必要なコスト」として回答。

負担額



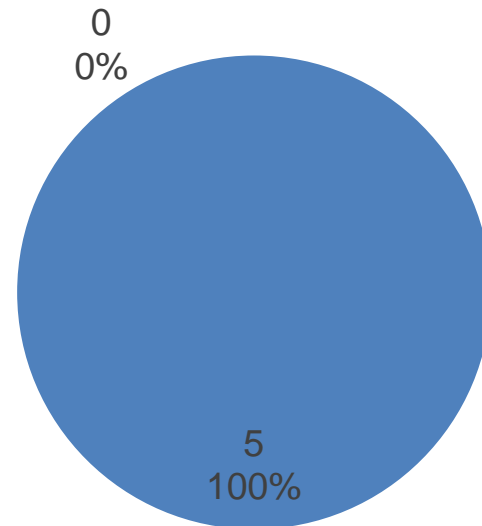
■ 10,000～20,000円  
 ■ 20,001～30,000円

負担感



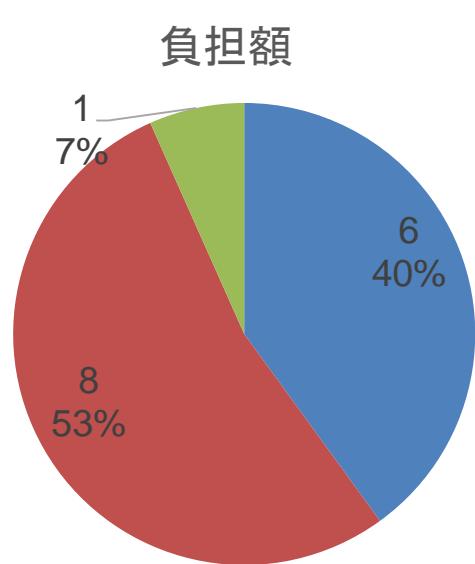
■ 大きい  
 ■ 相応  
 ■ 小さい

必要性

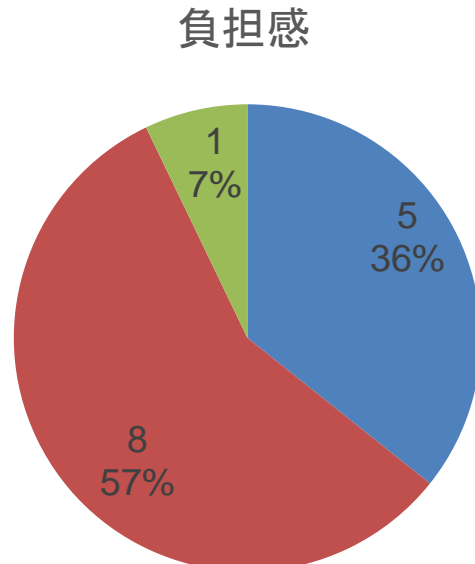


■ 必要なコスト  
 ■ 必要なコストではない

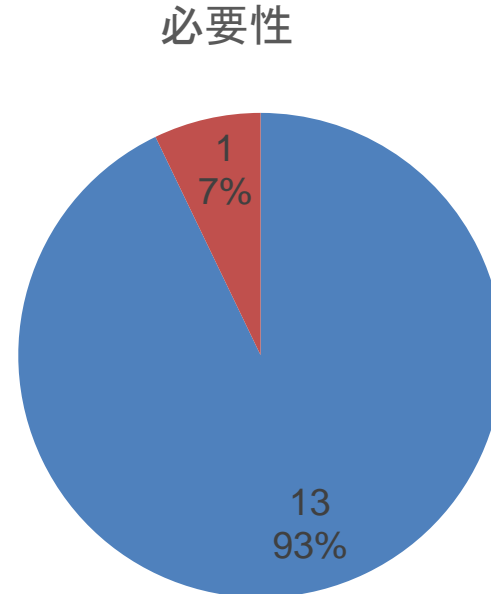
- 負担額は1～2万円が6件、2～3万円が8件となっている。
- 費用の負担感は「大きい」が5件、「相応」が最多の8件、「小さい」が1件となっている。
- 必要性は「必要なコスト」が13件、「必要なコストではない」が1件となっている。



- 10,000～20,001円
- 20,001～30,000円
- 記載無し



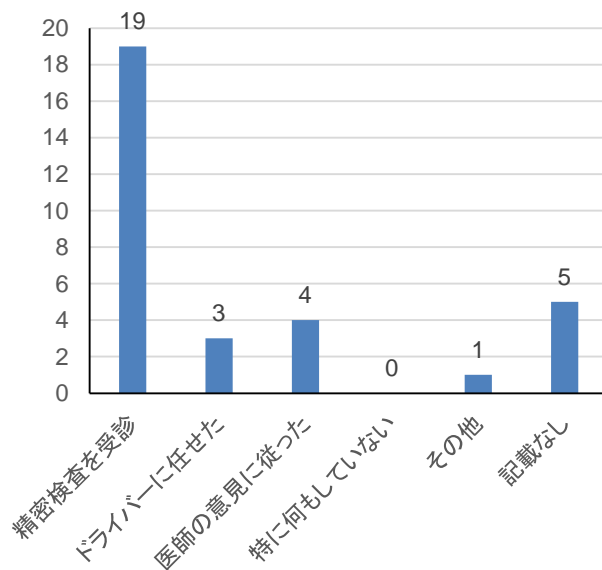
- 大きい
- 相応
- 小さい



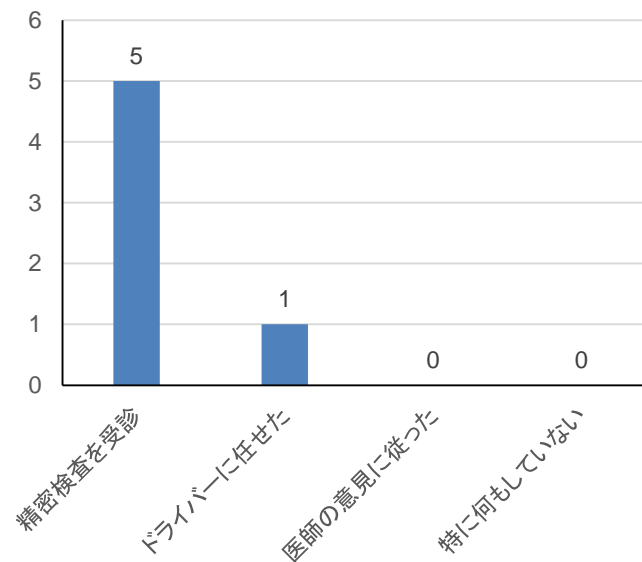
- 必要なコスト
- 必要なコストではない

○各モードとも「精密検査を受診させた」が最も多く、次いで、「医師の意見に従った」、「ドライバーに任せた」が続いており、「特に何もしていない」はなし。

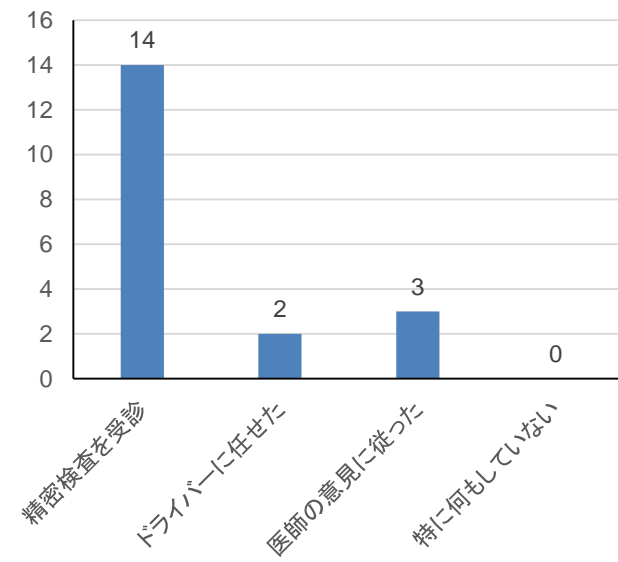
### バス



### タクシー

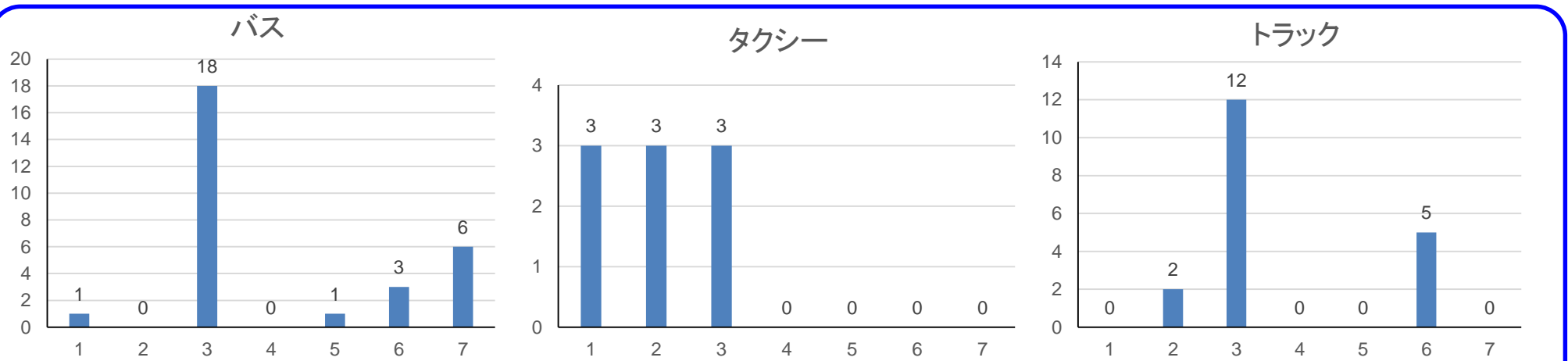


### トラック



その他  
○産業と面談

○バス、トラックとも疾病の見つかった運転者に対し、「治療をしながら運送業務を続けた」が最も多く、タクシーでは「治療のため休暇を命じた」、「運送以外の業務に配置転換した」、「治療をしながら運送業務を続けた」のそれぞれに各3件回答。  
 ○バスにおいて、「ドライバーを解雇又は他職種への転職を勧めた」という不適切な対応が1件回答。

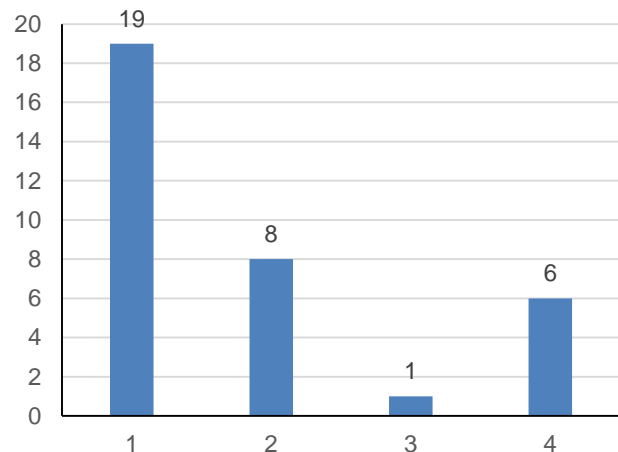


- その他
- 産業を活用
  - 保健師を活用
  - 人間ドックは本人の希望であるから指導していない

1. 治療のため休暇を命じた    2. 運送以外の業務に配置転換した  
 3. 治療をしながら運送業務を続けた    4. 特に対応していない  
 5. ドライバーを解雇又は他職種への転職を勧めた  
 6. 医師の意見に従った    7. その他

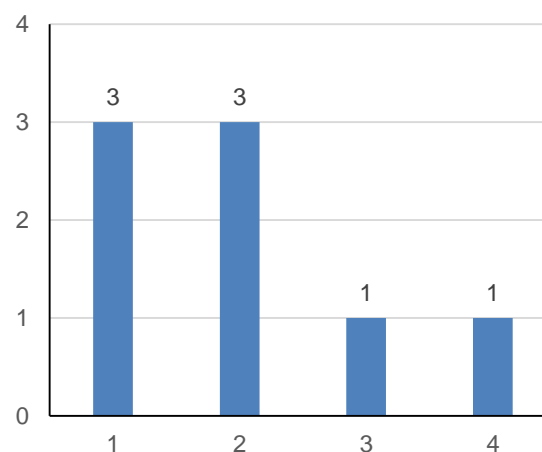
- 各モードとも「ドライバーから治療の経過を聴取している」、「医師の診断書を提出させている」という適切な対応が多く回答されている。
- バス、タクシーにおいて、「特に対応していない」という回答が各1件ある。

バス



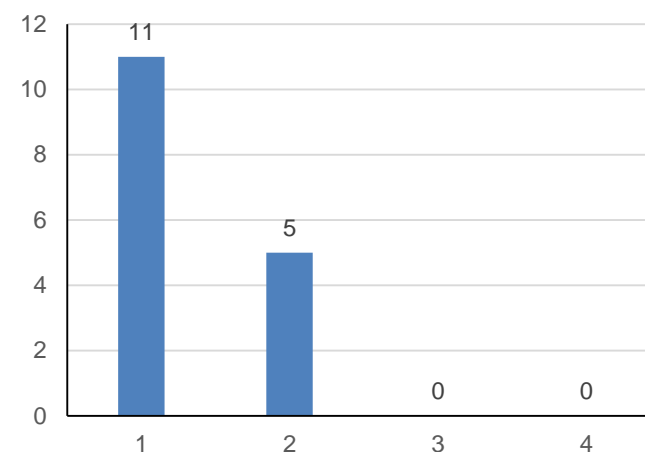
- その他
- 産業と面談させている
  - 通院を指示している

タクシー



- その他
- 産業と面談させている

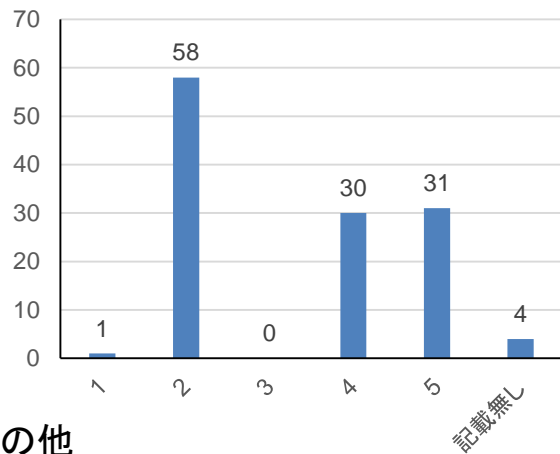
トラック



1. ドライバーから治療の経過を聴取している    2. 医師の診断書を提出させている  
 3. 特に対応していない    4. その他

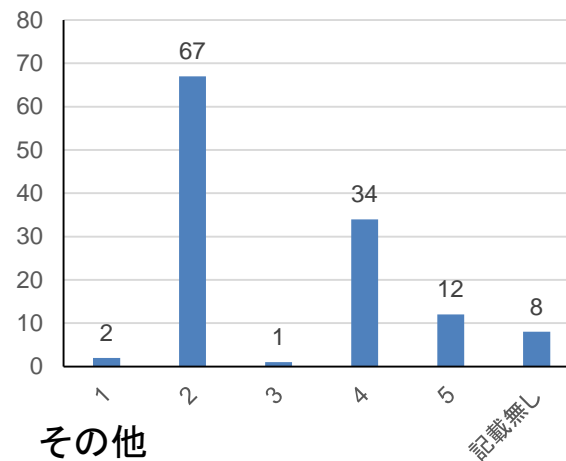
○各モードとも「定期健康診断を実施していれば不要かと思ったため」との回答が最も多く、次いで「受診費用の負担が大きい」との回答が多い。

バス



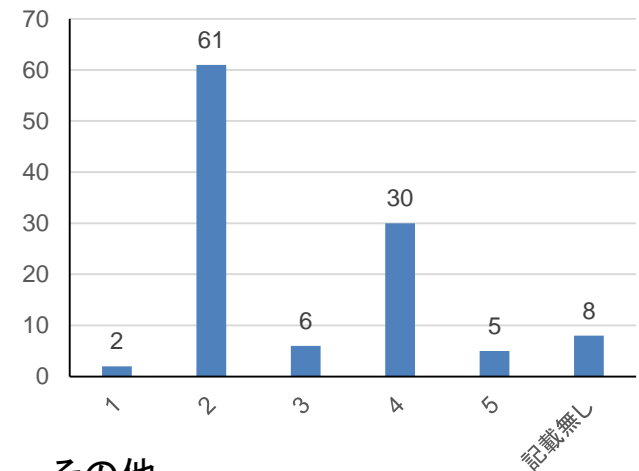
その他  
 個人に任せている  
 今後検討  
 希望者には個別に助成している など

タクシー



その他  
 個人に任せている  
 今後検討  
 会社の経営方針として反対 など

トラック

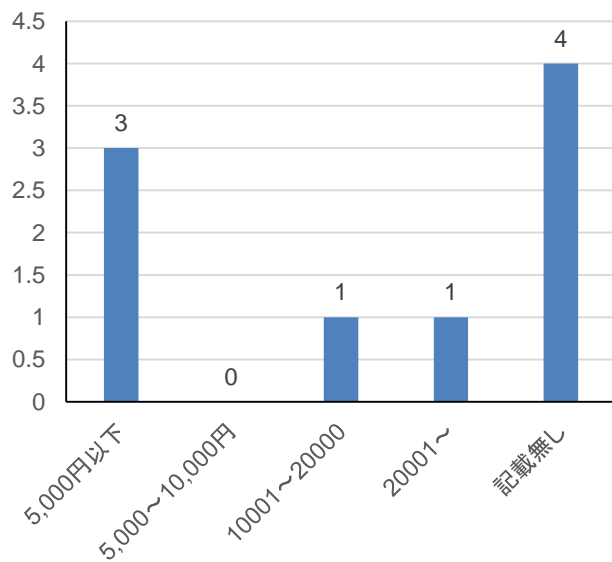


その他  
 個人に任せている  
 必要性を感じない

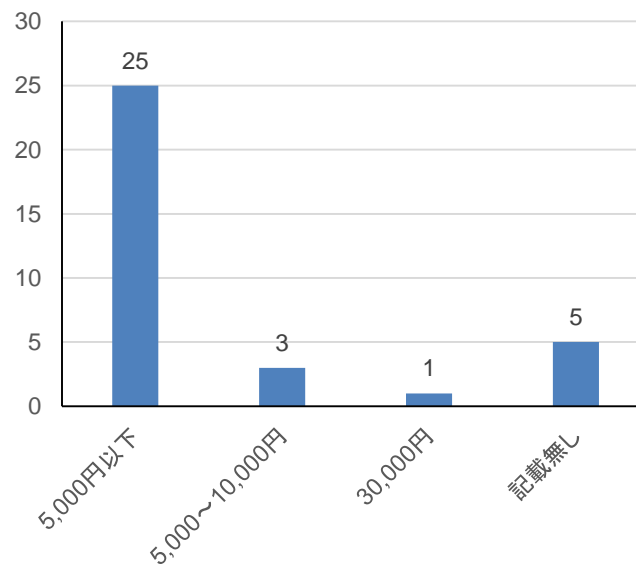
1. ドライバーからの反対があったため
2. 定期健康診断を実施していれば不要かと思ったため
3. 受診可能な病院が近くにないため
4. 受診費用の負担が大きい
5. その他

○検査を受診していない理由として「受診費用の負担が大きい」と選択した事業者では、全モードとも5,000円以下であれば受診可能という回答が最も多く、トラックにあっては5,000～10,000円という回答も多くなっている。

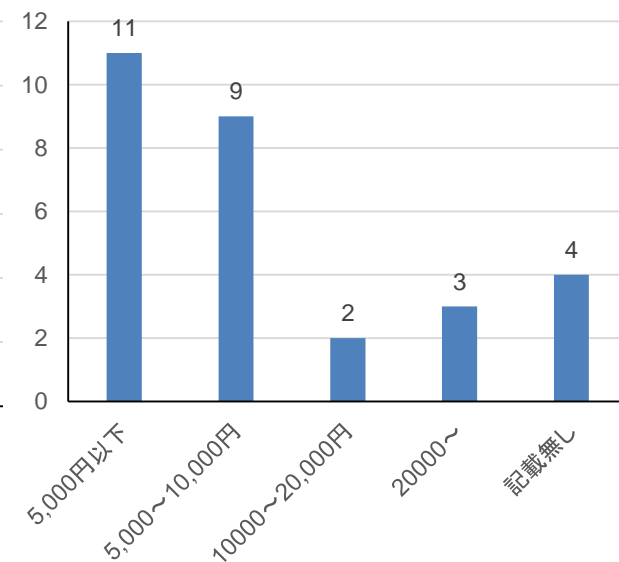
バス



タクシー



トラック





- 出庫点呼時等において血圧を測定している事業者は各業界に見られた。
- 生活習慣病防止検診をとおして定期健康診断の検査項目以上の項目を実施している事業者が見受けられる。

## 【バス】

- 出庫点呼時に血圧を測定している。
- 運転者自ら積極的に健康管理を行うよう動機付けするため「健康ポイント制度」(独自の取組。検査等受診に応じ、ポイントを付与し、ポイントが貯まれば商品券をプレゼント)を導入している。
- 乗務員に携帯用(日バス協作成)の「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」を配布。当マニュアルの乗務前点呼における乗務中止の判断目安の15項目をカードにし、全従業員が携帯させている。
- ユニオンツール社の眠気通知器を導入。
- 全従業員を対象とした事故防止会議を開催し、健康管理の重要性を説明。

## 【タクシー】

- 出庫点呼時に血圧を測定している。
- 健康管理業務の一部代行。
- 毎年一回は生活習慣病予防検診(協会けんぽ実施。労働安全衛生法に基づく定期健康診断よりも充実。)を全従業員に受診させている。
- 定期健診の結果をグラフ化し過去のものを元に個人面談し、労使間で健康管理を行っている。
- 健康チェック表の作成

## 【トラック】

- 出庫点呼時に血圧を測定している。
- 健康をテーマにした全体勉強会を実施。
- 健康管理のリーフレットを作成し配布。
- SASスクリーニング検査は、パルスオキシメーターを購入し、データ解析出力を実施。

## 【バス】

- 費用負担が障壁。
- 個人情報保護の観点があり指導しきれない。運転者が拒否する場合の判断に困っている。
- 担当者等人的体制が整っていない。
- 運転士不足で健康管理にかける時間がない。
- 生活習慣改善をいやがって辞められるのも困る。
- 乗務可否判断に困っている。
- スクリーニング検査を実施する間隔、検査のための時間が不明確。医療機関不足。
- 有所見者への対応が難しい。
- 助成金額が地域によってまちまち。

## 【タクシー】

- 費用負担が障壁。
- 運転者が受診を拒否する。運転者の理解と協力不足。
- 平日に受診できない。検査機関が少ない。
- プライバシーにどこまで踏み込んでよいか分からない。
- 上層部(経営者等)が健康管理に否定的。
- 医師のアドバイスが一般的で運転者向けではなかった。

## 【トラック】

- 費用負担が障壁。
- 個人情報の保護。個人の病気について企業がどこまで介入するか難しい。
- 休日に検査を受けられない。ドライバーの勤務時間が不規則な為、病院の予約が取りにくい。
- 経営者に健康起因事故防止の意識が不足している。
- 所見ありの運転者を配置転換するにも場所がなく、退職しか選択肢がない。
- 当日の体調は自主申告になるため把握が難しい。